

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	健康増進課	係	健康企画係
担当者		谷口正二	直通	25-5004	内線	8212

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	1	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	健康づくり推進事業（仲間と取り組む「健康な地域づくり」の支援）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

市民一人ひとりの健康づくりを、亀岡全体の健康づくり運動として盛り上げていく行動計画「かめおか健康プラン21」を策定して推進しています。健康づくり運動を盛り上げるためには、健康づくりに関わる市民活動と連携し、地域の声のかけあいや仲間づくりの促進、手軽で身近な健康づくりを紹介・実践など、家族や地域の健康づくりを応援できる人材が必要となります。まずは、健康づくり推進会議構成団体を核とした健康づくりの取り組みが推進できるよう、会議をととして方向性や活動の実践を議論するとともに、活動の実践を支援します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	各団体の参加を得た、健康づくり推進会議で、活動の方向性の共通認識がもてる	健康づくり推進会議構成団体間でコラボして、健康づくりに取り組める内容を持ち寄り検討を進めることとなった。	学識経験者報酬 38,800
平成24年度	半数以上の委員よりコラボ活動内容の提案がある コラボ提案内容より活動に結び付いたものがある	会議（7月3日）の場でコラボ活動の提案と意見交換を実施。がんちゃんの冒険DVDの配布や健康手づくり弁当表彰などが実施できた。	学識経験者報酬 19,400
平成25年度	コラボ活動の評価ができる すべての委員よりコラボ活動の提案がある コラボ活動が複数実施される	健康づくり推進会議を4、11月に開催し、構成団体間の取組み状況を共有し、歯（口腔）の健康やがん検診受診率の向上による健康情報の啓発に取り組む方向性が確認された。	学識経験者報酬 38,800
平成26年度	コラボ活動の評価ができる すべての構成団体がコラボ活動に参加できる	健康づくり推進会議を7、2月に開催し、構成団体間の取組み状況を共有した。おおよその構成団体がコラボ活動を実施した。	学識経験者報酬 38,800
平成27年度	コラボ活動を会議構成団体以外の協力を得て実施することができる	健康づくり推進会議を通じて、取組事項に係る情報共有及び充実に向けた協議を行い、構成団体以外の関係課との連携のもと健康いきいきフェスティバルを実施した。	委員報酬 30,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

単年度の達成割合を20%とし、平成27年度の目標達成を目指します。健康づくり推進会議構成団体間で取組事項に係る情報を共有し、啓発等の充実に向けた協議を行った。
また、構成団体以外の関係課との連携のもと健康いきいきフェスティバルを開催し、健康増進に係る啓発事業の充実に図ることができた。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

亀岡市健康増進計画「かめおか健康プラン21」の策定以降、その取組事項を中間評価として分析、また、アンケート調査の結果を踏まえ、その課題事項について協議を進めた。
また、構成団体以外の関係課との連携を図り、健康増進に係る啓発事業である健康いきいきフェスティバルを開催することができた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

健康増進事業に係る取組範囲は広く、効果的な啓発事業等を行う上で、その課題事項を把握し、課題項目の解消に向けた取り組みを行う必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

国・府の動向及びアンケート調査等を踏まえ平成27年度に策定したかめおか健康プラン（第2次亀岡市健康増進計画）を基に、今後、健康増進事業を実施することとなります。
当該計画に定めているように各取組事業を健康づくり推進会議において評価、見直しを行い、その意見を各事業に反映させるなかで、社会全体として、個人の健康を支え、守る環境づくりの取組に努めるものとします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	健康増進課	係	健康診査係
担当者	入江 純	直通	25-5004	内線	8213	

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	1	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	健康づくり推進事業（人生の「節目」ごとの健康支援）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

市民一人ひとりの健康づくりを、亀岡全体の健康づくり運動として盛り上げていく行動計画「かめおか健康プラン21」を策定して推進しています。ライフステージごとに健康課題も変化し、それに対応する健康支援が必要です。妊婦健診や乳幼児健診、生活習慣病健診、各がん検診、予防接種等を提供し、健康の保持増進に努めます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	母子保健、成人保健、予防接種等の実施をする。（かめおか健康プラン21の目標：健康で笑顔で過ごせていると感じる人の割合H27年度に50%）	母子保健、成人保健、予防接種等を実施し、疾病の早期発見、早期治療につなげるとともに、健康増進を図った。	—
平成24年度	母子保健、成人保健、予防接種等の実施をする。（かめおか健康プラン21の目標：健康で笑顔で過ごせていると感じる人の割合H27年度に50%）	母子保健、成人保健、予防接種等を実施し、疾病の早期発見、早期治療につなげるとともに、健康増進を図った。	—
平成25年度	母子保健、成人保健、予防接種等の実施をする。（かめおか健康プラン21の目標：健康で笑顔で過ごせていると感じる人の割合H27年度に50%）	母子保健、成人保健、予防接種等を実施し、疾病の早期発見、早期治療につなげるとともに、健康増進を図った。	—
平成26年度	母子保健、成人保健、予防接種等の実施をする。（かめおか健康プラン21の目標：健康で笑顔で過ごせていると感じる人の割合H27年度に50%）	母子保健、成人保健、予防接種等を実施し、疾病の予防および早期発見、早期治療につなげるとともに、健康増進を図った。	—
平成27年度	母子保健、成人保健、予防接種等の実施をする。（かめおか健康プラン21の目標：健康で笑顔で過ごせていると感じる人の割合H27年度に50%）	母子保健、成人保健、予防接種等を実施し、疾病の予防および早期発見、早期治療につなげるとともに、健康増進を図った。	—

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

健康づくり事業は市民の健康を守るために恒常的に実施していくものであり目標達成年度はありませんが、各保健事業の実施により行動計画である「かめおか健康プラン21」の目標の達成に努めた。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

母子保健、成人保健、予防接種等を実施し、疾病の早期発見、早期治療につなげるとともに、健康増進を図った。

計画全体の指標である「健康で笑顔で過ごせていると感じる人の割合」については、44.2%であり、目標値の50%には達しなかったが、中間評価値（41.8%）と比較すると大きく改善された。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

ライフステージごとに健康課題も変化し、それに対応する健康支援が必要であり、また、各種検診等の受診率の向上や、健康づくり事業の推進のためには、市民1人1人が、健康に対して関心を持ち、健康づくりに取り組んでいく意識の向上を図ることが必要である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

「かめおか健康プラン21」に基づき、妊婦健診や乳幼児健診、生活習慣病健診、各がん検診、予防接種等を提供し、健康の保持増進に努めるとともに、市民1人1人が心身ともに健康であり、自分らしく生きられるよう、生涯を通じた健康づくりへの取り組み、そしてその取り組みを後押しする地域ぐるみの環境づくりを推進していく。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	健康増進課	係	健康企画係
担当者		谷口正二	直通	25-5004	内線	8212

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	1	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	健康づくり推進事業（保健・医療・福祉・教育との連携、協働による健康づくり）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

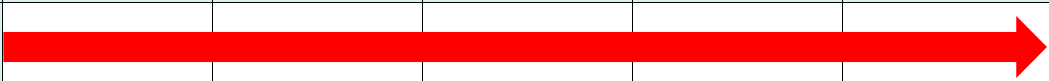
④事業の概要及び目的

市民一人ひとりの健康づくりを、亀岡全体の健康づくり運動として盛り上げていく行動計画「かめおか健康プラン21」を策定して推進しています。健康課題の解決、健康づくりの推進には、保健・医療・福祉・教育の各分野での連携は欠かせません。市役所内部、関係団体や組織との連携を強化し、健康づくり事業を推進します。各部門の委員で組織されている健康づくり推進会議を開催し、健康づくり事業を盛り立てていきます。また、有機的な活動が展開できるように必要な連携会議等に積極的に参画します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	健康づくり推進会議開催回数 年2回 他部門開催の会議（南丹保健所 主催の健康づくり部会）への 参加	亀岡市健康づくり推進会議を開催し課題解決に向けての検討を実施。南丹保健所が開催する健康づくり部会や亀岡市医師会、庁内の各関係会議に参画した。	—
平成24年度	健康づくり推進会議開催回数 年2回 他部門開催の会議（南丹保健所 主催の健康づくり部会等）への 参加回数の把握	健康づくり推進会議は7月3日に開催。年度末開催予定は、委員変更あるため、次年度に延期。他部門開催会議への出席。	—
平成25年度	健康づくり推進会議開催回数 年2回。他部門開催の会議への 参加を通して、役割や方向性 を検討できる。	健康づくり推進会議を年2回開催、健康いきいきフェスティバルや府民会議等に参画し、他機関との連携・協働による包括的な健康づくりの推進を継続。	—
平成26年度	健康づくり推進会議開催回数 年2回にて、他部門開催会議内容の反映が検討できる 他部門開催の会議への参加の継続	健康づくり推進会議を年2回開催、健康いきいきフェスティバルや府民会議等への参加を継続し、健康づくりの推進を継続。	—
平成27年度	健康づくり推進会議開催回数 年2回にて、他部門開催会議内容の反映と改善が検討できる 他部門開催の会議への参加の継続	食生活改善推進委員会や学校保健会等関係団体との連携を図り、健康いきいきフェスティバルをはじめ、健康づくりに係る啓発の充実を図ることができた。	—

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

健康づくり事業は市民の健康を守るために恒常的に実施していくものであり目標達成年度はありませんが、行動計画である「かめおか健康プラン21」の目標の達成に努めています。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

健康増進事業の推進は、乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じて、栄養・食生活、身体活動・運動等の健康づくりの領域ごとに取組みを進めており、その取組範囲は広く、行政機関のみで対応できるものではありません。
こうしたなか、健康づくり推進会議を構成する関係機関・団体との連携等により、その取組範囲全体に事業展開を図ることができている。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

健康増進事業に係る取組範囲は広く、効果的な啓発事業等を行う上で、その課題事項を把握し、課題項目の解消に向けた取組みを行う必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

国・府の動向及びアンケート調査等を踏まえ平成27年度に策定したかめおか健康プラン（第2次亀岡市健康増進計画）を基に、今後、健康増進事業を実施することとなります。
当該計画に定めているように各取組事業を健康づくり推進会議において評価、見直しを行い、その意見を各事業に反映させるなかで、社会全体として、個人の健康を支え、守る環境づくりの取組に努めるものとします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	健康増進課	係	健康企画係
担当者		谷口正二	直通	25-5004	内線	8212

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	1	解決策	1	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	健康づくり推進事業（健康意識の啓発）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

市民一人ひとりの健康づくりを、亀岡全体の健康づくり運動として盛り上げていく行動計画「かめおか健康プラン21」を策定して推進しています。計画では、①栄養・食生活、②身体活動・運動、③休養・こころ、④タバコ、⑤歯の健康、⑥健（検）診・生活習慣病対策の6つの領域に分けて目標設定をしています。この計画に基づき、健康いきいきフェスティバルや健康教育、相談の場等を通じて、市民が健康づくりの大切さに気付いて行動できるように、意識啓発を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	あらゆる機会を通じて、健康情報を提供する。（かめおか健康プラン21の目標：定期的に健（検）診を受ける人の割合H27年度に75%）	健康いきいきフェスティバル、歯のひろばの開催及び6つの領域に分け、対象年齢層に合わせた健康情報の発信を各事業を通して実施した。	554,122
平成24年度	あらゆる機会を通じて、健康情報を提供する。（かめおか健康プラン21の目標：定期的に健（検）診を受ける人の割合H27年度に75%）	健康いきいきフェスティバル、歯のひろばの開催及び6つの領域に分け、対象年齢層に合わせた健康情報の発信を各事業を通して実施した。	573,995
平成25年度	あらゆる機会を通じて、健康情報を提供する。（かめおか健康プラン21の目標：定期的に健（検）診を受ける人の割合H27年度に75%）	健康いきいきフェスティバル、歯のひろばの開催及び6つの領域に分け、対象年齢層に合わせた健康情報の発信を各事業を通して実施した。	573,880
平成26年度	あらゆる機会を通じて、健康情報を提供する。（かめおか健康プラン21の目標：定期的に健（検）診を受ける人の割合H27年度に75%）	健康いきいきフェスティバル、歯のひろばの開催及び6つの領域に分け、対象年齢層に合わせた健康情報の発信を各事業を通して実施した。	603,680
平成27年度	あらゆる機会を通じて、健康情報を提供する。（かめおか健康プラン21の目標：定期的に健（検）診を受ける人の割合H27年度に75%）	健康いきいきフェスティバル、歯のひろばの開催及び6つの領域に分け、対象年齢層に合わせた健康情報の発信を各事業を通して実施した。	819,634

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

健康づくり事業は市民の健康を守るために恒常的に実施していくものであり目標達成年度はありませんが、行動計画である「かめおか健康プラン21」の目標の達成に努めています。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

健康増進事業の推進は、乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じて、栄養・食生活、身体活動・運動等の健康づくりの領域ごとに取組みを進めており、健康いきいきフェスティバル、歯のひろばの開催及び6つの領域に分け、対象年齢層に合わせた健康情報の発信を各事業を通して実施した。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

健康増進事業に係る取組範囲は広く、効果的な啓発事業等を行う上で、各領域ごとの課題を把握し、その課題項目の解消に向けた取組みを行う必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後もライフステージに応じ、栄養・食生活、身体活動・運動等の各領域ごとに取組みを進めていくこととしており、各事業における啓発に加え、健康いきいきフェスティバル、歯のひろばの開催等を通じて、各領域ごとに健康情報を提供していくこととします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	健康増進課	係	母子健康係
担当者		中村 典子	直通	25-5004	内線	8218

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	1	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	母子健康手帳交付、妊婦健診、妊婦相談・訪問									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

市民が、安心して妊娠・出産できるよう母子手帳交付時に情報提供したり、必要な妊婦への訪問、定期的に妊婦健康診査を受けられるよう健診費用を公費負担するなどの母子保健サービスを行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	母子手帳交付、妊婦健診、相談などにより安心して妊娠出産できる。	母子手帳交付712件、妊婦健診件。（妊婦健診受診率92.6%）	58,617,960
平成24年度	母子手帳交付、妊婦健診、相談などにより安心して妊娠出産できる。（妊婦健診受診率95%）	母子手帳交付738件、妊婦健診8,402件。（妊婦健診受診率89%）	57,548,260
平成25年度	母子手帳交付、妊婦健診、相談などにより安心して妊娠出産できる。（出産までの必要な妊婦健診の受診率95%）	母子手帳交付754件、妊婦健診8,395件。（妊婦健診受診率91.4%）	57,051,650
平成26年度	母子手帳交付、妊婦健診、相談などにより安心して妊娠出産できる。（出産までの必要な妊婦健診の受診率95%）	母子健康手帳交付725件、妊婦健康診査7,924件。（妊婦健診受診率94.2%）	56,654,980
平成27年度	母子手帳交付、妊婦健診、相談などにより安心して妊娠出産できる。（出産までの必要な妊婦健診の受診率95%）	母子健康手帳交付707件、妊婦健康診査7,852件。（妊婦健診受診率96.0%）	54,793,980

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

妊婦が妊娠中に必要とされる14回の健診に対する費用助成を行い、経済的な不安なく受診できる体制を確保した。また、妊娠や出産にかかわる情報提供や相談を行い、安心して出産できるための必要な支援を行った。平成23年～27年度妊婦健診の受診率95%×5か年＝475%に対して、平成27年度までの妊婦健診受診率は、92.6%+89%+91.4%+94.2%+96.0＝463.2%で、5か年の進捗度は463.2%÷475%＝97.5%となる。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

母子健康手帳交付時に面接、アンケートによる聞き取りを行い、妊娠期を安心して過ごせるよう情報提供や相談を行った。また、妊娠期間を通じて必要な健診が受けられるよう、公費負担による受診券を交付した。パパママ教室等により、家族で妊娠や子育てに関するイメージを持てるような教育・啓発を行った。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

母子健康手帳を交付する妊娠初期以降は、相談や教室を希望する妊婦を除き、妊娠中の状況が把握がしにくい。安全な出産や産後の養育に影響が懸念される場合もあるため、適切な時期に支援につなげ、産後への支援に継続できるしくみが必要である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

28年度も事業を継続するとともに、関係機関との連携により、妊娠中から産前産後を切れ目なく支援する支援できる体制を整備する。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	健康増進課	係	母子健康係
担当者		中村 典子	直通	25-5004	内線	8218

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	1	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	乳幼児健診、乳幼児訪問指導、育児相談、発達相談									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

子どもの健やかな成長発達を支援するため、健診や相談、訪問指導を行い、異常の早期発見早期治療に努めるとともに、各発達段階に応じた育児支援を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	乳幼児健診、訪問指導、育児相談、発達相談などを実施し、子どもが健やかに成長発達できる。	乳幼児健診3003人、育児相談785人、新生児・こんにちは赤ちゃん訪問870人。乳幼児健診受診率96%。	9,901,153
平成24年度	乳幼児健診、訪問指導、育児相談、発達相談などを実施し、子どもが健やかに成長発達できる。（乳幼児健診受診率98%）	乳幼児健診2952人、育児相談710人、新生児・こんにちは赤ちゃん訪問828人。乳幼児健診受診率95.2%。	11,024,736
平成25年度	乳幼児健診、訪問指導、育児相談、発達相談などを実施し、子どもが健やかに成長発達できる。（乳児前期健診受診率98%）	乳幼児健診2,769人、育児相談683人、新生児・未熟児・こんにちは赤ちゃん訪問843人。乳幼児健診受診率95.3%。	10,505,528
平成26年度	乳幼児健診、訪問指導、育児相談、発達相談などを実施し、子どもが健やかに成長発達できる。（乳児前期健診受診率98%）	乳幼児健診2,778人、育児相談609人、新生児・未熟児・こんにちは赤ちゃん訪問817人。乳幼児健診受診率97.3%。	11,070,702
平成27年度	乳幼児健診、訪問指導、育児相談、発達相談などを実施し、子どもが健やかに成長発達できる。（乳児前期健診受診率98%）	乳幼児健診2,657人、育児相談702人、新生児・未熟児・こんにちは赤ちゃん訪問812人。乳幼児健診受診率95.6%。（乳児前期96.6%）	10,860,951

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

新生児期の訪問をはじめ、発達の節目での乳幼児健診、健診後の相談支援などを関係課とも連携しながら行った。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

訪問や健診、相談事業等により、子どもの健やかな成長発達への支援を行いました。育児不安や子育ての負担感の大きい乳幼児期に保護者の悩みに寄り添い、医療機関や保育所・幼稚園、関係機関と連携を図り発達の段階に応じた支援を行いました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

社会状況の変化により、虐待の予防への対応や、発達の課題による子育てのしにくさへの支援など一人一人への支援が複雑で多様なものとなっています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

28年度以降も各事業を実施することとしますが、多様な対象者へきめ細かく対応できるよう各事業を見直しながら展開していきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	健康増進課	係	健康診査係
担当者		大野 久美子	直通	25-5004	内線	8213

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	1	解決策	2	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	健康教育									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

がん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病等の生活習慣病対策として、健康教育、啓発・啓蒙を通じて、メタボリック症候群等の知識の普及や食や運動、こころ、たばこ、生活リズム、体重管理、アルコール、水分摂取、定期的な健診の必要性等健康づくり情報の提供により、学び実践する機会をつくります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	健康づくり情報の提供 喫煙率の低下 かめおか健康プラン21の目標：乳幼児のいる保護者の喫煙率（3歳児健診）女性10%男性30%以下（国の目標12%）	健康教育 実施回数：109回 実施人数：4,916人 3歳児健診保護者喫煙率 女性 7.9% 男性 34.2% 男女平均21.1%	880,000
平成24年度	健康づくり情報の提供 喫煙率の低下 かめおか健康プラン21の目標：乳幼児のいる保護者の喫煙率（3歳児健診）女性10%男性30%以下（国の目標12%）	健康教育 実施回数：96回 実施人数：4,400人 3歳児健診保護者喫煙率 女性 7.8% 男性 36.0% 男女平均21.9%	871,000
平成25年度	健康づくり情報の提供 喫煙率の低下 かめおか健康プラン21の目標：乳幼児のいる保護者の喫煙率（3歳児健診）女性10%男性30%以下（国の目標12%）	健康教育 実施回数：191回 実施人数：3,322人 3歳児健診保護者喫煙率 女性 4.7% 男性 32.9% 男女平均18.8%	807,000
平成26年度	健康づくり情報の提供 喫煙率の低下 かめおか健康プラン21の目標：乳幼児のいる保護者の喫煙率（3歳児健診）女性10%男性30%以下（国の目標12%）	健康教育 実施回数：132回 実施人数：2,312人 3歳児健診保護者喫煙率 女性 4.4% 男性 30.1% 男女平均17.3%	796,000
平成27年度	健康づくり情報の提供 喫煙率の低下 かめおか健康プラン21の目標：乳幼児のいる保護者の喫煙率（3歳児健診）女性10%男性30%以下（国の目標12%）	健康教育 実施回数：71回 実施人数：2,581人 3歳児健診保護者喫煙率 女性 5.8% 男性 29% 男女平均17.4%	765,736

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

教育、啓発・啓蒙については、生活習慣病対策として各方面から取り組みを進めているが、健康づくりの大前提であり、予防効果（エビデンス）が実証されているタバコについて、かめおか健康プラン21の目標及び国の目標を参考に目標数値を挙げている。（国の目標値：喫煙率12%）
 女性は、当面の目標である10%を達成しているところであるが、男性も、目標喫煙率30%以下でもさらに国の目標である12%を目指すとして、男女平均で平成22年度調査値31.3%（男性46.9%女性15.6%）から、平成27年度調査値の17.4（男性29%女性5.8%）の進捗度を算出。

$$(31.3 - 17.4) \% \div (31.3 - 12.0) \% \times 100 = 72.1\%$$

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

健康づくりの大きな柱として、タバコ対策を掲げ、あらゆる機会を通して事業を行ってきた結果、喫煙率はかめおか健康プラン21の目標の乳幼児の保護者の喫煙率（3歳児健診）女性10%に対し5.8%、男性30%に対し29%と目標値に達しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

喫煙率は、国の示す喫煙率12%に達していません。また、小学生の喫煙など低年齢化と若い女性の喫煙率は横ばいであり、未成年の喫煙防止など更なる対策が必要です。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

健康寿命の延伸に向けて、タバコ対策及び食事、運動、口腔、睡眠などの健康づくり事業を実施しています。28年度以降も、予防効果（エビデンス）が実証されているタバコ対策を重点的に引き続き実施していきます。

なお、目標の進捗状況の算出法については、国の喫煙率と比較していますが、比較している対象が、国は「全年齢に対する喫煙者の割合」を算出しているのに対し、市は「喫煙率の高い乳幼児の保護者（20～40代）に対する喫煙者の割合」であることから、今後はかめおか健康プラン21の目標値と比較していきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	健康増進課	係	健康診査係
担当者		松村 亜矢子	直通	25-5004	内線	8213

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	1	解決策	2	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	11
②事業名	がん検診（胃・大腸・肺・子宮・乳がん）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

がんの知識の普及により、がんを予防する生活習慣づくりとがん検診受診を啓発するとともに、新規検診受診者や定期的に検診を受ける人を増やし、受診率を上げる中、がんの早期発見・早期治療を促します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	がんの啓蒙・啓発 がん検診の実施 未受診者受診勧奨 (受診率：50%)	がん検診受診率12.4% 胃がん1,766人、大腸がん 3,210人、肺がん2,768人、子 宮がん4,172人、乳がん2,129 人	65,926,404
平成24年度	がんの啓蒙・啓発 がん検診の実施 未受診者受診勧奨 (受診率：50%)	がん検診受診率14.5% 胃がん1,848人、大腸がん 3,432人、肺がん2,872人、子 宮がん4,424人、乳がん2,120 人	66,371,779
平成25年度	がんの啓蒙・啓発 がん検診の実施 未受診者受診勧奨 (受診率：50%)	がん検診受診率14.7% 胃がん2,018人、大腸がん 3,858人、肺がん3,082人、子 宮がん4,058人、乳がん2,090 人	73,286,000
平成26年度	がんの啓蒙・啓発 がん検診の実施 未受診者受診勧奨 (受診率：50%)	がん検診受診率14.3% 胃がん1,926人、大腸がん 3,672人、肺がん3,035人、子 宮がん4,153人、乳がん2,222 人	77,896,434
平成27年度	がんの啓蒙・啓発 がん検診の実施 未受診者受診勧奨 (受診率：50%)	がん検診受診率14.3% 胃がん2,159人、大腸がん 4,134人、肺がん3,269人、子 宮がん3,642人、乳がん1,949 人	65,467,914

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

がん検診については、京都府がん対策推進計画の目標受診率が50%となっている。
国においては、5年以内に胃・肺・大腸がんについては、当面40%を目指すとなっているが、
亀岡市では、前期夢ビジョンの目標を検診受診率50%としており、平成27年度平均受診率
14.3%／目標受診率50%≒30%の進捗状況と算出した。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

がん検診目標受診率50%に対して実績は12～14%代で、進捗状況は低い結果となりましたが、無料クーポン券の配布や、啓発活動等により受診者数は年々増加しており、新規がん検診受診者数も増加しています。また、がんを予防する生活習慣づくり等の一次予防にも積極的に取り組みました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

がん検診未受診者、特に無関心な人に向けた啓発の内容や方法を工夫し、新規検診受診者を増やす必要があります。また、定期的に検診を受診している人が継続して受診したり、市民全体が、がんやがん検診に関心をもつように、幅広い年齢層へのアプローチが必要です。

しかし、胃がん検診については、検診による副作用があることも考慮し、安全面を重視して対象者を限定せざるを得ない場合もあります。

○がんやがん検診への関心の向上

○新規受診者や定期的に検診を受ける人の拡大

○PR活動の取組

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

がんの早期発見・早期治療を促すために、引き続きがん検診を実施することとし、受診率向上のために女性限定日やセット検診日を設けます。また、がんを予防する生活習慣づくりの普及のため、PR活動を強化していきます。

なお、平成28年度以降は、「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）に基づき、がん検診受診率の算定対象年齢を40歳から69歳まで（子宮頸がん検診対象は20歳から69歳まで）と限定することとします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	健康増進課	係	健康企画係
担当者		谷口正二	直通	25-5004	内線	8212

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	1	解決策	2	具体的施策	5	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	予防接種									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

予防接種法に基づき、定期のワクチン接種をすることで、感染症等の疾病の罹患を個人、そして集団的に蔓延することを予防します。

A類疾病:ジフテリア・百日咳・破傷風・急性灰白髄炎(ポリオ)・麻しん・風しん・日本脳炎・結核(BCG)・ヒブ感染症・小児の肺炎球菌感染症・ヒトパピロマウィルス感染症(子宮頸がん予防)

B類疾病:季節性インフルエンザ

定期予防接種に「水痘」「成人用肺炎球菌」ワクチンの追加が、政省令の改正(7月)を経、H26.10を目途に施行される予定であり、スムーズな導入実施により予防接種の効果をあげる必要がある

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費(円単位)
平成23年度	定期接種(A類疾病)は努力義務が課せられており、接種率90%(公衆衛生的に蔓延防止できると言われている率)とする。	一時接種勧奨を中止していた日本脳炎ワクチンを除き、総対象数9,867人に対して9,431人が接種。接種率95.6%。	267,937,945円
平成24年度	定期接種(A類疾病)は努力義務が課せられており、接種率90%(公衆衛生的に蔓延防止できると言われている率)とする。	一時接種勧奨を中止の日本脳炎、ポリオワクチンの変更等により単純に接種率が出せません。麻しん・風しんの接種率は94.1%。	267,937,945円
平成25年度	定期接種(A類疾病)は努力義務が課せられており、接種率90%(公衆衛生的に蔓延防止できると言われている率)とする。	ポリオワクチンの変更、子宮頸がんワクチンの積極的勧奨の見合わせ等により、単純に接種率が出せません。麻しん・風しんの接種率は97.1%	174,934,606円
平成26年度	定期予防接種(A類疾病)の接種率90%以上の維持と法改正に伴う追加予防接種が実施できる	法改正による追加予防接種として、水痘、高齢者用肺炎球菌を10月より開始することができた	203,242,832円
平成27年度	予防接種実施機関との調整および対象者への案内等を含め、予防接種の実施環境を整えることができる	予防接種実施機関との調整及び対象者への案内や啓発を通じて、予防接種の実施環境を整えることができた	192,297,545円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

- H26年10月から水痘、高齢者用肺炎球菌予防接種が開始されました。
- 予防接種の変更等があり、単純な接種率が出せません。乳幼児期の予防接種については、転入者の接種もあり、通知数以上の接種者がある状況です。継続的な接種率の維持・向上を目指します。
- 子宮頸がん予防については積極的勧奨の見合わせが継続しており、今後も情報収集することします。
- 予防接種は国民の健康を守るために恒常的に実施していくものであり目標達成年度はありませんが、単年度の達成割合を20%とし、取り組みを行いました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

予防接種を通じ、感染症等の疾病の蔓延予防にその効果をあげることができた。
また、予防接種法等の改正に伴う「水痘」「高齢者用肺炎球菌」ワクチンの接種環境の整備についてもスムーズな導入・実施によりその効果をあげることができた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

予防接種のその種類は多く、接種対象年齢や接種回数もそのワクチンごとに異なる。また、今後、定期接種の対象ワクチンも増えることが想定されるため、これまでの案内や啓発を基に、接種者への勧奨方法にも注視し、接種者がその機会を逸することのないよう、今後も取り組む必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

接種対象年齢や接種回数もそのワクチンごとに異なり、そのワクチンの種類も多い。
また、今後、定期接種の対象ワクチンも増えることが想定されるため、これまでの案内や啓発を基に、その勧奨に視点をおき接種機会を逸することのないよう努めるものとします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	総務部	課	自治防災課	係	防災・危機管理係
担当者		藤本 祥之	直通	25－6788	内線	2334

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	1	解決策	2	具体的施策	6	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	未知の大規模感染症への体制整備									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

未知の大規模感染症が発症した時に、感染の予防、感染拡大を防止するため、正確な情報を迅速に伝達できるように、情報伝達体制などの整備を行う。
--

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	亀岡市危機管理計画等による体制を維持する。	亀岡市危機管理計画等による体制を維持する。	0円
平成24年度	亀岡市危機管理計画等による体制を維持する。	亀岡市危機管理計画等による体制を維持する。	0円
平成25年度	亀岡市危機管理計画等による体制を維持する。	亀岡市危機管理計画等による体制を維持する。	0円
平成26年度	亀岡市危機管理計画等による体制を維持する。	亀岡市危機管理計画等による体制を維持する。	0円
平成27年度	亀岡市危機管理計画等による体制を維持する。	亀岡市危機管理計画等による体制を維持する。	0円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成23年度から27年度の5年間の内、5年目について目標を達成したため、達成率を100%としました。
--

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

亀岡市危機管理計画等による情報伝達体制を維持し、未知の大規模感染症発症時に備えることができた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

—

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も亀岡市危機管理計画等による情報伝達体制を維持し、未知の大規模感染症発症時に備えてまいります。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	健康増進課	係	健康企画係
担当者		廣瀬 麻子	直通	25-5004	内線	8212

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	1	解決策	2	具体的施策	6	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	食中毒予防啓発事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

亀岡食品衛生協会、京都府南丹保健所等と連携し、食中毒予防のための啓発活動を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	食中毒予防啓発に係るパレードを実施し、市民に対し食中毒予防の啓発意識を高め、集団食中毒の発生0件を目指します。	パレードと同時に、亀岡食品衛生協会を中心とした啓発資材の手配り等も実施し、市民に対し食中毒の予防啓発を直接行うことができました。	42,000
平成24年度	食中毒予防啓発に係るパレードを実施し、市民に対し食中毒予防の啓発意識を高め、集団食中毒の発生0件を目指します。	- 食中毒予防啓発パレードの実施 - 食品営業関係施設の巡回指導及び衛生指導 - 食中毒注意報連絡の実施	40,000
平成25年度	- 食中毒予防啓発パレードの実施 - 食品営業関係施設の巡回指導及び衛生指導 - 食中毒注意報連絡の実施	- 食中毒予防啓発パレードの実施 - 食品営業関係施設の巡回指導及び衛生指導 - 食中毒注意報連絡の実施	11,550
平成26年度	- 食中毒予防啓発パレードの実施 - 食品営業関係施設の巡回指導及び衛生指導 - 食中毒注意報連絡の実施	- 食中毒予防啓発パレードの実施 - 食品営業関係施設の巡回指導及び衛生指導 - 食中毒注意報連絡の実施	12,960
平成27年度	- 食中毒予防啓発パレードの実施 - 食品営業関係施設の巡回指導及び衛生指導 - 食中毒注意報連絡の実施	- 食中毒予防啓発パレードの実施 - 食品営業関係施設の巡回指導及び衛生指導 - 食中毒注意報連絡の実施	13,230

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年度までの5年間の取組期間のうち、平成23～27年度において食中毒予防のための啓発活動を実施したことから100%の達成率とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

前期基本計画期間中（平成２３年度～２７年度）、食中毒予防のための啓発活動を毎年実施し、食中毒の予防啓発に努めることができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

食中毒予防啓発活動が、市民の食中毒予防意識をさらに高められるよう啓発に対して検討する必要があります。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成２８年度以降も引き続き食中毒予防のための啓発活動を実施し、市民の食中毒予防の啓発意識を高め、集団食中毒の発生０件を目指していきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	健康増進課	係	保健衛生係
担当者		中山和恵	直通	25-5004	内線	8224

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	1	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	地域医療・介護・福祉連携推進会議									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

医師会等関係者と連携・協力し、かかりつけ医制度の普及を推進するとともに、かかりつけ医の後方支援体制の充実を図り、介護・福祉を含めた地域医療連携体制の構築に努めます。
また、今後の認知症への対応への医療の関わり体制整備について検討することとします。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	地域医療情報センターの運用開始準備ができる かかりつけ医制度の普及ツールが検討できる	市民啓発講演会、看護人材研修会等が実施できた 地域医療情報センター運用開始準備ができた	地域医療情報センター開設準備 2,857,168円 講演会、人材研修会等開催経費 1,360,832円
平成24年度	ツール活用が開始できる 活用意向あり開業医が把握できる 地域にかかりつけ医をもつ必要性の啓発活動が実施できる	推進会議のコアメンバーが核となり講演会、研修会、ツールの啓発等が実施できた	活動経費 1,850,000円
平成25年度	ツール活用意向あり開業医のうち、連携活動への参加医師率10% 地域にかかりつけ医を持っている市民割合が把握できる	連携活動への参加医師率35.9% 高齢者が相談できる医療機関をもっている割合は76.9%であったが、地域のかかりつけ医であるか特定ができていない。	3,131,025円
平成26年度	活用意向あり開業医のうち、連携活動への参加医師率50% 地域にかかりつけ医を持っている市民割合が5%増	連携活動への参加働きかけを実施したが、参加医師率は昨年度と同率で35.9%で固定化 市民への啓発講演会を2回実施	4,498,000円
平成27年度	開業医の現状把握をし、今後の認知症を含めた、地域医療連携体制づくりの在り方を検討することができる。市民への啓発活動が実施できる	関係者が初期認知症についての共通認識を深めるための機会づくりをし、現状把握につとめた。市民への啓発活動として地域での講演会を実施。	4,040,380円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

- 亀岡市地域医療・介護・福祉連携推進会議を開催するとともに、関係者の主体的な部会活動により各関係者の連携体制づくり、研修、市民への啓発活動等を実施することができた。
- 参加医師の協力体制が強化するとともに、活動への医師及び関係者の理解が深まっている。
- 市民への啓発講演会（3回）を通して、今後、地域へ広げるための資料整理や媒体作成ができた。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

かかりつけ医制度の普及推進については、啓発チラシを作成するとともに、ツールとしての「あんしん覚書き」の啓発活動に取り組めた。住民への啓発講演会の計画的に実施し、地域へ広げるための資料整理や媒体作成、役割分担等が明確になり、継続実施が可能となった。

介護・福祉を含めた地域医療連携体制の構築については、かめおか医療連携研究会を実施することにより、お互いの顔の見える関係づくりの場を持つとともに、お互いが高め合う土壌作りができた。

亀岡市地域医療・介護・福祉連携推進会議の推進体制が幹事（コアメンバー）と部会を中心に確立され、それぞれが役割分担することで機能的な活動が実施できるようになった。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

今後、増加が予測される認知症への対応等を含め、関係者の役割やサポート体制づくり、関係者の力量を高める取り組みの検討が必要となってきた。

また、市域の医療全体の機能についてや介護関係者との役割分担等、共通認識が深まる機会作りが必要。

関係者だけではなく、住民自身の地域の身近なかかりつけ医を持つなどの、受診行動への働きかけも継続的に必要。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

引き続き、亀岡市地域医療・介護・福祉連携推進会議を中心に課題を考え、解決に向けた取り組みを進めていく。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	亀岡市立病院	課	地域連携室	係	
担当者		庄田 晴美	直通	25-7313	内線	

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	1	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	地域医療連携事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

総合計画に定めた地域医療体制の充実及び市立病院診療体制の充実を図るための重要な取組みとして、地域医療機関との連携強化を進めているものです。
--

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・病診連携懇話会及び市民健康教室の開催(各1回)。広報誌による地域連携医の紹介(3回) ・地域医療機関との連携（紹介患者数；目標2,180人）	・病診連携懇話会及び市民健康教室の開催(各1回)。広報誌による地域連携医の紹介(3回) ・地域医療機関との連携（紹介患者数；2,183人）	-
平成24年度	・病診連携懇話会及び市民健康教室の開催(各1回)。広報誌による地域連携医の紹介(3回) ・地域医療機関との連携（紹介患者数；目標2,190人）	・病診連携懇話会及び市民健康教室の開催(各1回)。広報誌による地域連携医の紹介(3回) ・地域医療機関との連携（紹介患者数；1,938人）	-
平成25年度	・病診連携懇話会及び市民健康教室の開催(各1回)。広報誌による地域連携医の紹介(3回) ・地域医療機関との連携（紹介患者数；目標2,000人）	・病診連携懇話会及び市民健康教室の開催(各1回)。広報誌による地域連携医の紹介(3回) ・地域医療機関との連携（紹介患者数；1,990人）	-
平成26年度	・病診連携懇話会及び市民健康教室の開催(各1回)。広報誌による地域連携医の紹介(3回) ・地域医療機関との連携（紹介患者数；目標2,010人）	・病診連携懇話会及び市民健康教室の開催(各1回)。広報誌による地域連携医の紹介(3回) ・地域医療機関との連携（紹介患者数；2,083人）	-
平成27年度	・病診連携懇話会及び市民健康教室の開催(各1回)。広報誌による地域連携医の紹介(3回) ・地域医療機関との連携（紹介患者数；目標2,100人）	・病診連携懇話会及び市民健康教室の開催(各1回)。広報誌による地域連携医の紹介(3回) ・地域医療機関との連携（紹介患者数；2,112人）	-

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

病診連携懇話会等の開催は、100%の達成率ですが事業の3割として換算し、地域医療機関との連携の目標値である紹介患者数は、事業の7割として換算して全体では100%の達成率とします。
--

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

地域医療機関との相互の信頼関係を高めるため、病診連携懇話会や市民の健康情報の提供として市民健康教室を継続して実施した。また、地域医療機関との連携により継続した医療の提供を行った。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

病診連携懇話会については、出席される医療機関が固定化しており、開催方法、内容の見直しが必要である。
診療体制の変動に伴い、紹介患者数の変動がみられた。今後も市立病院の特色を適時アピールしていくことが大切と考える。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

地域医療機関との信頼関係を深めるよう、病診連携懇話会の充実や地域医療機関の訪問を継続して行っていく。
かかりつけ医への逆紹介について、地域医療機関からの情報収集を継続して行い、円滑に進められる様にしていく。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	地域福祉課	係	地域福祉係
担当者		塚本	直通	25-5029	内線	2713

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	2	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	福祉コミュニティ推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

住み慣れた地域で支えあい助け合う顔の見えるまちづくりを進めるため、地域福祉推進事業（「市民福祉のつどい」）を実施し、地域福祉の理念の普及や啓発を行います。

「市民福祉のつどい」は、高齢者・障がい者、親と子、世代をこえて様々な人が集い交流することにより地域福祉が推進できるよう各種団体参加ものと様々な催しを行っています。平成26年度は福祉団体による歌や踊り、ボランティア体験コーナー、高齢者サロン作品展示、小・中学校福祉活動紹介コーナー、介護者交流会、子ども広場。また、チャリティーバザーや模擬店など行いました。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	「市民福祉のつどい」参加者数：5,500人	「市民福祉のつどい」参加者数：6,000人	(委託料) 3,320,000
平成24年度	「市民福祉のつどい」参加者数：5,800人	「市民福祉のつどい」参加者数：6,000人	(委託料) 3,320,000
平成25年度	「市民福祉のつどい」参加者数：6,100人	「市民福祉のつどい」参加者数：6,000人	(委託料) 3,320,000
平成26年度	「市民福祉のつどい」参加者数：6,300人	「市民福祉のつどい」参加者数：6,000人	(委託料) 3,320,000
平成27年度	「市民福祉のつどい」参加者数：6,500人	「市民福祉のつどい」参加者数：6,000人	(委託料) 3,320,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

地域福祉の理念の普及や啓発を行うことにより住み慣れた地域で支えあい助け合う顔の見えるまちづくりを進められたことから平成27年度末で100%とした。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

地域福祉の理念の普及や啓発を行うことを目的として地域福祉推進事業（「市民福祉のつどい」）を実施し、地域住民に啓発を行った。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

今後も地域福祉計画に基づき、つながり支え合いみんながともに輝くまちづくりを基本理念として、地域福祉の理念の普及や啓発を行う必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

住み慣れた地域で支えあい助け合う顔の見えるまちづくりを進めるため、今後も地域福祉計画に基づき、基本理念・計画目標にしたがって、地域福祉の理念の普及や啓発を行っていく。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	地域福祉課	係	地域福祉係
担当者		塚本	直通	25-5029	内線	2713

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	2	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	13
②事業名	福祉コミュニティ推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

亀岡市社会福祉協議会と連携して、地域の人同士が「見守り」「話し合い」「助け合い」といった支えあい活動を実践するための基盤となる福祉コミュニティの組織（地区社協）づくりを支援します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・ 亀岡市社会福祉協議会に業務の委託を行う ・ 地区社協の設立支援や運営支援を行う	・ 亀岡市社会福祉協議会に業務の委託を行った。 ・ 地区社協の設立支援や運営支援を行った。（H23新規設立2件、合計12件）	2,700,000
平成24年度	・ 亀岡市社会福祉協議会に業務の委託を行う ・ 地区社協の設立支援や運営支援を行う	・ 亀岡市社会福祉協議会に業務の委託を行った。 ・ 地区社協の運営支援を行った。（H24新規設立0件、合計12件）	2,600,000
平成25年度	・ 亀岡市社会福祉協議会に業務の委託を行う ・ 地区社協の設立支援や運営支援を行う	・ 亀岡市社会福祉協議会に業務の委託を行った。 ・ 地区社協の運営支援を行った。（H25新規設立0件、合計12件）	2,600,000
平成26年度	・ 亀岡市社会福祉協議会に業務の委託を行う ・ 地区社協の設立支援や運営支援を行う	・ 亀岡市社会福祉協議会に業務の委託を行った。 ・ 地区社協の運営支援を行った。（H26新規設立0件、合計12件）	2,200,000
平成27年度	・ 亀岡市社会福祉協議会に業務の委託を行う ・ 地区社協の設立支援や運営支援を行う	・ 亀岡市社会福祉協議会に業務の委託を行った。 ・ 地区社協の運営支援を行った。（H27新規設立0件、合計12件）	2,100,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度の計画的な進捗により平成27年度において100%の実施ができた。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

亀岡市社会福祉協議会と連携して、地域の人同士が「見守り」「話し合い」「助け合い」といった支えあい活動を実践するための基盤となる福祉コミュニティの組織（地区社協）づくりを支援します。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

福祉コミュニティの組織（地区社協）づくりを支援することにより地域の人同士が支えあい活動を実践するための基盤となる組織をつくる必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後もさらに亀岡市社会福祉協議会と連携して、福祉コミュニティの組織（地区社協）づくりを支援する必要がある。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	地域福祉課	係	地域福祉係
担当者		塚本	直通	25-5029	内線	2713

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	2	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	福祉コミュニティ推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

地域住民のつながりを図り孤立しがちな人々を支援するため、地域住民が行うふれあいサロンなどの地域福祉活動を支援します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	亀岡市社会福祉協議会と連携を図り、地域住民主体の地域福祉活動を支援する	亀岡市社会福祉協議会と連携を図り、地域住民主体の地域福祉活動を支援した。	0
平成24年度	亀岡市社会福祉協議会と連携を図り、地域住民主体の地域福祉活動を支援する	亀岡市社会福祉協議会と連携を図り、地域住民主体の地域福祉活動を支援した。	0
平成25年度	亀岡市社会福祉協議会と連携を図り、地域住民主体の地域福祉活動を支援する	亀岡市社会福祉協議会と連携を図り、地域住民主体の地域福祉活動を支援した。	0
平成26年度	亀岡市社会福祉協議会と連携を図り、地域住民主体の地域福祉活動を支援する	亀岡市社会福祉協議会と連携を図り、地域住民主体の地域福祉活動を支援した。	0
平成27年度	亀岡市社会福祉協議会と連携を図り、地域住民主体の地域福祉活動を支援する	亀岡市社会福祉協議会と連携を図り、地域住民主体の地域福祉活動を支援した。	0

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度において適切な亀岡市社会福祉協議会との連携により平成27年度において100%の実施ができた。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

各年度において適切な亀岡市社会福祉協議会との連携により地域福祉を推進することができた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

地域住民のつながりを図り孤立しがちな人々を支援するため、地域住民が行うふれあいサロンなどの地域福祉活動を支援する必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

地域住民のつながりを図り孤立しがちな人々を支援するため、亀岡市社会福祉協議会と連携を図り、地域住民が行うふれあいサロンなどの地域福祉活動を支援することにより、今後も地域住民主体の地域福祉活動を支援していく。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	障害福祉課	係	障害総務係
担当者		川勝	直通	0771-25-5031	内線	2752

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	2	解決策	1	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	公共施設における障害者トイレ等バリアフリー化推進に係る啓発									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

公共施設における障害者トイレ等バリアフリー化推進を目的に、平成23年度以前は府補助金・障害者自立支援対策臨時交付金（10／10）を利用し、市内公共施設に「障害者用トイレ」や「オストメイト」を設置。
 今後は、亀岡市のホームページや障害者福祉制度案内用に配布している「障害者福祉のてびき」において、障害者トイレ等バリアフリー化推進に係る公共施設情報を掲載し、広く市内外に情報発信します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・補助金・交付金を利用し、市内公共施設に「障害者用トイレ」や「オストメイト」を設置。	平成22年度までの補助対象実施14施設、17箇所	0円
平成24年度	・市の公共施設における「障害者トイレ」「オストメイト」等の設置状況を把握する。	市の公共施設における「障害者トイレ」「オストメイト」等の設置状況を各所管部署に照会し把握した。	0円
平成25年度	・市の公共施設における「障害者トイレ」「オストメイト」等の設置状況に基づき、情報提供を行うことにより設置推進につなげる。	新規施設の対応状況を個別に調査し、状況把握した（人権福祉センター・市庁舎別館等）。	0円
平成26年度	・市の公共施設における「障害者トイレ」「オストメイト」等の設置状況に基づき、情報提供を行うことにより設置推進につなげる。	市の公共施設における「障害者トイレ」「オストメイト」等の設置状況を各所管部署に照会し把握した。	0円
平成27年度	・市の公共施設における「障害者トイレ」「オストメイト」等の設置状況に基づき、情報提供を行うことにより設置推進につなげる。	市の公共施設における「障害者トイレ」「オストメイト」等の設置状況を各所管部署に照会し把握した。	0円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度20%の進捗率とし、平成27年度末で100%とした。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

情報が浸透するにつれて、当該内容の問い合わせが減少しており、現在は全く無い程度にまで減少している。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

特にありません。
については、この状況を維持していくこととします。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

情報の受け手がいつでも情報を入手できるように、継続して情報を発信し続けます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	地域福祉課	係	地域福祉係
担当者		岡田	直通	25-5029	内線	2713

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	2	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会等関係団体への支援・連携									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

地域住民同士のつながりが希薄化する中、支援を要する人の発見、予防、支援のため、亀岡市社会福祉協議会、民生委員児童委員等との連携を図ります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・ 亀岡市社会福祉協議会ほか地域団体等への支援と連携 ・ 亀岡市民生委員児童委員協議会への支援と連携	・ 亀岡市社会福祉協議会ほか地域団体等への支援と連携を行った。 ・ 亀岡市民生委員児童委員協議会への支援と連携を行った。	(民児協活動補助金) 「府補助金」 19,542,072 (社協活動補助金) 36,877,548
平成24年度	・ 亀岡市社会福祉協議会ほか地域団体等への支援と連携 ・ 亀岡市民生委員児童委員協議会への支援と連携	・ 亀岡市社会福祉協議会ほか地域団体等への支援と連携を行った。 ・ 亀岡市民生委員児童委員協議会への支援と連携を行った。	(民児協活動補助金) 「府補助金」 19,570,094 (社協活動補助金) 36,848,717
平成25年度	・ 亀岡市社会福祉協議会ほか地域団体等への支援と連携 ・ 亀岡市民生委員児童委員協議会への支援と連携	・ 亀岡市社会福祉協議会ほか地域団体等への支援と連携を行った。 ・ 亀岡市民生委員児童委員協議会への支援と連携を行った。	(民児協活動補助金) 「府補助金」 19,613,744 (社協活動補助金) 34,617,623 (孤立死対策委託料) 「国補助金」 350,000
平成26年度	・ 亀岡市社会福祉協議会ほか地域団体等への支援と連携 ・ 亀岡市民生委員児童委員協議会への支援と連携	・ 亀岡市社会福祉協議会ほか地域団体等への支援と連携を行った。 ・ 亀岡市民生委員児童委員協議会への支援と連携を行った。	(民児協活動補助金) 「府補助金」 19,750,993 (社協活動補助金) 35,403,945 (孤立死対策委託料) 「国補助金」 3,000,000
平成27年度	・ 亀岡市社会福祉協議会ほか地域団体等への支援と連携 ・ 亀岡市民生委員児童委員協議会への支援と連携	・ 亀岡市社会福祉協議会ほか地域団体等への支援と連携を行った。 ・ 亀岡市民生委員児童委員協議会への支援と連携を行った。	(民児協活動補助金) 「府補助金」 19,758,268 (社協活動補助金) 41,983,075 (孤立死対策委託料) 「国補助金」 2,900,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

各年度とも、亀岡市社会福祉協議会、民生委員児童委員等と適切な連携が図れたことから、平成27年度末で100%とした。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

- ・ 亀岡市社会福祉協議会ほか地域団体等への支援と連携を適切に行った。
- ・ 亀岡市民生委員児童委員協議会への支援と連携を適切に行った。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

地域住民同士のつながりが希薄化する中、支援を要する人の発見、予防、支援のため、亀岡市社会福祉協議会、民生委員児童委員等との連携や支援を行っていく必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

「改定亀岡市地域福祉計画」に基づき、地域福祉を推進するため、今後も、亀岡市社会福祉協議会、民生委員児童委員等との連携を図っていく。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	地域福祉課	係	地域福祉係
担当者	岡田	直通	25-5029	内線	2713	

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	2	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	民生委員児童委員協議会全員研修会、新任研修会									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

民生委員児童委員が地域のリーダーとして積極的な活動ができるよう、亀岡市民生委員児童委員協議会の全員研修会、新任研修会等を充実します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	全員研修会 1回 新任研修会 2回	全員研修会 1回 新任研修会 2回	81,901
平成24年度	全員研修会 1回	全員研修会 1回	91,855
平成25年度	全員研修会 1回 新任研修会 1回	全員研修会 1回 新任研修会 1回	77,646
平成26年度	全員研修会 1回 新任研修会 2回	全員研修会 1回 新任研修会 2回	68,439
平成27年度	全員研修会 1回	全員研修会 1回	69,141

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度、目標どおり計画的に研修を実施したことで、平成27年度で100%とした。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

民生委員児童委員が地域のリーダーとして積極的な活動ができるよう、亀岡市民生委員児童委員協議会の全員研修会を実施した。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

今後も民生委員児童委員が地域のリーダーとして積極的な活動ができるよう、亀岡市民生委員児童委員協議会の研修会を継続実施する必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も民生委員の資質向上の為、亀岡市民生委員児童委員協議会の研修会を継続実施する。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	地域福祉課	係	保護第1係、保護第2係
担当者		八田	直通	25-5030	内線	2715～2718

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	2	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	生活保護制度									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

生活保護法に基づき、真に生活に困窮する市民に対して必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする。また、不正受給の防止に努め、適正な生活保護制度の実施に努めます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	生活保護制度に基づく保護の実施、生活困窮者からの相談の実施とセーフティネット事業の活用による生活支援 等	適正な保護の実施 (数値での評価不可)	1,267,121,965
平成24年度	生活保護制度に基づく保護の実施、生活困窮者からの相談の実施とセーフティネット事業の活用による生活支援 等	適正な保護の実施 (数値での評価不可)	1,308,857,300
平成25年度	生活保護制度に基づく保護の実施、生活困窮者からの相談の実施とセーフティネット事業の活用による生活支援 等	適正な保護の実施 (数値での評価不可)	1,367,558,858
平成26年度	生活保護制度に基づく保護の実施、生活困窮者からの相談の実施とセーフティネット事業の活用による生活支援 等	適正な保護の実施 (数値での評価不可)	1,433,084,596
平成27年度	生活保護制度に基づく保護の実施、生活困窮者からの相談の実施とセーフティネット事業の活用による生活支援 等	適正な保護の実施 (数値での評価不可)	1,389,704,355

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度20%、平成27年度100%目標として、平成27年度末時点で100%とした。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

経済・雇用情勢を反映し、新規保護世帯の伸びは緩やかに推移しているが、特に高齢者、母子世帯が増加する中、法及び国が定める実施要領に基づき、要保護者へ適切な支援を行うとともに、就労支援事業等を効果的に推進し、被保護者の自立助長を図った。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

社会構造が複雑化する中、複合的な課題を抱えた世帯が増加傾向にあり、また様々な領域から生じる問題が複雑に絡み合っている場合が多く、各専門機関と共に継続的に対応することが求められている。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後とも、支援体制の整備・強化を図り、関係機関・団体との連携をさらに密にし、生活保護制度に基づく適切な支援に努めるとともに、社会的孤立等による複合的な課題を抱える世帯への重点的な支援に努める。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	子育て支援課	係	子育て支援係
担当者		廣瀬	直通	25-5027	内線	2733

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	3	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	14
②事業名	亀岡市子育て支援センター事業、地域子育てひろば事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

亀岡市子育て支援センターを子育て支援の中核施設として、ひろば事業、つどい事業、相談事業や情報提供事業等の取り組みの充実や、コーディネート機能の強化を図る。また、地域の子育て支援団体による子育て支援拠点事業「ひろば型」を展開する。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	ひろば事業・つどい事業参加者数 33,700人	33,831人 -内訳- ひろば事業27,723人 つどい事業 3,785人 ファミサポ 2,323人	委託料17,056,000円
平成24年度	ひろば事業・つどい事業参加者数 33,950人	34,168人 -内訳- ひろば事業28,019人 つどい事業 3,320人 ファミサポ 2,829人	委託料17,156,000円
平成25年度	ひろば事業・つどい事業参加者数 34,200人	33,132人 -内訳- ひろば事業27,335人 つどい事業 3,301人 ファミサポ 2,496人	委託料16,666,000円
平成26年度	ひろば事業・つどい事業参加者数 34,450人	34,273人 -内訳- ひろば事業28,960人 つどい事業 3,085人 ファミサポ 2,228人	委託料16,726,000円
平成27年度	ひろば事業・つどい事業参加者数 34,700人	35,398人 -内訳- ひろば事業29,995人 つどい事業 3,103人 ファミサポ 2,300人	委託料16,753,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

亀岡市次世代育成支援行動計画（後期計画）及び亀岡市子ども・子育て支援事業計画に基づき、順調に進捗しました。
第4次総合計画期間内で、毎年事業の充実やコーディネート機能の強化を行い、市民ニーズに対応することとしているため、目標到達年度から進捗度を算出しています。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

亀岡市子育て支援センターを中心とした、ひろば事業、つどい事業等の地域子育て支援拠点事業への延べ参加者数は増加傾向にあり、各種子育てに関する相談および情報提供の場や、子育て中の親子同士が、気軽にふれあい、交流することができる場を提供できたものと考えます。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

地域子育て支援拠点の延べ利用者数は増加傾向にあるものの、利用者はまだまだ限られていると考えられることから、より多くの子育て世帯が利用できるよう、当該事業の更なる広報に努めるとともに、複雑化する市民ニーズへのきめ細やかな対応が求められていると考えます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

子育て中の親子が地域で孤立することがないように、気軽にふれあい、交流することができる場を引き続き確保するとともに、広く情報提供に努め、地域子育て支援拠点等において、安心して交流し、過ごすことができるよう、今後も地域ぐるみで子育てを支援する環境づくりに取り組んでいきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調査

主管部課係	部等	健康福祉部	課	子育て支援課	係	子育て支援係
担当者		廣瀬	直通	25-5027	内線	2733

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	3	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	亀岡市ファミリーサポートセンター事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

育児のサポートを受けたい人とサポートをしたい人がそれぞれ「おねがい会員」「まかせて会員」として登録し、センター事務局がその橋渡し役となって、困った時に会員同士が地域の中で子どもの世話を一時的に有料で援助し合うものである。市民の参画と協働により繰り広げられる相互援助活動は、地域の方と子育て世代が直接触れ合うことができる良い機会となるため、会員登録者の増加を促進している。※お願い会員とは亀岡市在住・在勤で、おおむね生後3か月から10歳のお子さんがおられる育児のサポートを受けたい人。まかせて会員とは亀岡市在住で、亀岡市子育て支援センターが実施する講習を受講した育児のサポートをしたい人。										
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	ファミリーサポートセンター登録会員数 750人	ファミリーサポートセンター登録会員数 775人 相互援助活動累計 2,323人	委託料 880,000円
平成24年度	ファミリーサポートセンター登録会員数 830人	ファミリーサポートセンター登録会員数 741人 相互援助活動累計 2,829人	委託料 880,000円
平成25年度	ファミリーサポートセンター登録会員数 910人	ファミリーサポートセンター登録会員数 753人 相互援助活動累計 2,496人	委託料 930,000円
平成26年度	ファミリーサポートセンター登録会員数 990人	ファミリーサポートセンター登録会員数 752人 相互援助活動累計 2,228人	委託料 901,000円
平成27年度	ファミリーサポートセンター登録会員数 1,070人	ファミリーサポートセンター登録会員数 755人 相互援助活動累計 2,300人	委託料 901,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

登録会員数・相互援助活動件数について伸び悩んでいるものの、事業自体は事業開始以降、堅調に推移しており、亀岡市次世代育成支援行動計画（後期計画）及び亀岡市子ども・子育て支援事業計画に基づき、順調に進捗しました。 第4次総合計画期間内で毎年、相互援助体制を整えることとしているため、目標到達年度から進捗度を算出しています。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

当該事業が実施する登録会員による相互援助活動により、子育て世帯が抱える多種多様な個別ニーズに対応するとともに、子育てに関する様々な情報交換の機会となり、子育て世帯同士の交流や地域のつながりにも一定寄与できたものと考えます。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

登録会員数が伸び悩んでいることと、援助を依頼したくても市街から離れた地域に住んでいるなどの理由により、地域によって利用のしやすさに違いが生じていることなどから、市内一円での「まかせて会員」の確保に努めるとともに、広報誌やホームページなどを通じた本制度の更なる周知とPRが必要であると考えます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も、様々な市民ニーズに気を配り、育児の援助を依頼したい人（おねがい会員）と援助したい人（まかせて会員）が相互に育児に関する援助活動を行うことにより、市民相互の地域コミュニティの活性化や安心して子育てができる環境づくりに取り組んでいきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	子育て支援課	係	子育て支援係
担当者		酒井	直通	25-5027	内線	2733

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	3	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	子育てに関する情報の提供									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

子育てに関する相談体制の構築とあわせ、地域のきめ細やかな子育て支援活動を掲載した「子育て情報誌」の発行及び市ホームページへの情報掲載を通じて、子育て家庭が必要とする多様な子育て情報の普及啓発を行う。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	子育て情報誌 発行部数2,000部	子育て情報誌 発行部数2,000部	印刷製本費 120,000円
平成24年度	子育て情報誌 発行部数2,000部	子育て情報誌 発行部数2,000部	印刷製本費 120,000円
平成25年度	子育て情報誌 発行部数2,000部	子育て情報誌 発行部数2,000部	印刷製本費 120,000円
平成26年度	子育て情報誌 発行部数2,000部	子育て情報誌 発行部数2,000部	印刷製本費 120,000円
平成27年度	子育て情報誌 発行部数2,000部	子育て情報誌 発行部数2,000部	印刷製本費 120,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

「子ども・子育て支援事業計画」に定める基本目標1「地域ぐるみで子育てを支援する」に基づいて計画発行部数を発行し、各関係機関等に配布を行うことにより、子育てに関する情報の提供に努めました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

「子育て情報誌」については、市役者窓口による配布をはじめ、地域の民生委員や亀岡市保健センターにおける子育て家庭への訪問等の機会、また、子育て支援を実施する事業者を通じた子育て家庭への配布などにより、子育て家庭が求める情報を円滑に提供することができたものと考えています。

また、市ホームページへの掲載により、本市市民のみならず、広域的な子育て支援情報の普及・啓発につながったものと考えております。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

子育て家庭が求めるニーズの多様化に伴い、「子育て情報誌」に掲載する子育て情報も多様化してきております。子育て家庭が必要とするきめ細やかな情報の提供に努めてきたところでありますが、今後の「子育て情報誌」の発行に当たっては、多様化するニーズに対する効率的な情報掲載に取り組む必要があります。例えば、子育ての段階（ライフステージ）に応じた情報の掲載など、情報誌のレイアウト構成を工夫することが必要と考えています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度においては、これまでの事業を継続するとともに、項目②で記載した課題の解消に向け、「子育て情報誌」の抜本的な見直しを行います。

なお、見直しに当たっては、①最新の情報を提供すること、②費用対効果を踏まえた方法により作成することを基本に作成方法を検討し実施します。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	子育て支援課	係	子育て支援係
担当者		酒井	直通	25-5027	内線	2733

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	3	解決策	1	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	家庭相談員及び母子・父子自立支援員による相談体制									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

家庭相談員3名を配置し、児童虐待をはじめとする児童の養育等に関する相談を積極的に受け入れるとともに、母子・父子自立支援員1名を配置し、ひとり親家庭等の経済的自立と生活の安定に向けた多種多様な相談・ニーズに対応する。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	身近な場所で気軽に相談ができる体制を確保し、家庭児童相談・ひとり親家庭等の自立に向けた相談など多種多様な相談ニーズに応える。	・家庭児童相談 2,935件 ・ひとり親自立支援相談 422件	4,557,822
平成24年度	身近な場所で気軽に相談ができる体制を確保し、家庭児童相談・ひとり親家庭等の自立に向けた相談など多種多様な相談ニーズに応える。	・家庭児童相談 3,773件 ・ひとり親自立支援相談 438件	6,511,957
平成25年度	身近な場所で気軽に相談ができる体制を確保し、家庭児童相談・ひとり親家庭等の自立に向けた相談など多種多様な相談ニーズに応える。	・家庭児童相談 5,880件 ・ひとり親自立支援相談 434件	6,289,850
平成26年度	身近な場所で気軽に相談ができる体制を確保し、家庭児童相談・ひとり親家庭等の自立に向けた相談など多種多様な相談ニーズに応える。	・家庭児童相談 5,173件 ・ひとり親自立支援相談 465件	6,909,293
平成27年度	身近な場所で気軽に相談ができる体制を確保し、家庭児童相談・ひとり親家庭等の自立に向けた相談など多種多様な相談ニーズに応える。	・家庭児童相談 6,572件 ・ひとり親自立支援相談 477件	7,171,601

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

亀岡市次世代育成支援行動計画（後期計画）及び亀岡市子ども・子育て支援事業計画に基づき、概ね順調に進捗している。
第4次総合計画計画期間内で毎年相談体制を整え、市民ニーズに対応することとしているため、目標到達年度から進捗度を算出している。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

身近な場所で気軽に相談ができる体制を確保し、家庭児童相談・ひとり親家庭等の自立に向けた相談など多種多様な相談・ニーズへの対応を図ったところである。相談件数が増加傾向にあり、相談体制の充実と市民への浸透によるものと考えている。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

身近な場所で気軽に相談ができる体制を確保し、市民への浸透がみられる一方で、相談件数が増加傾向にある。

相談内容も多種多様であり、中には困難な相談等も含まれる中、従来どおりの気軽に相談できる場所を確保するためには、相談員・支援員の負担増大への対策についても検討する必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

引き続き「身近な場所で気軽に相談できる」体制を確保するとともに、児童福祉法等の関係法令の改正状況等を踏まえながら、市民ニーズへの対応に支障が生じないように体制確保に努める。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	子育て支援課	係	子育て支援係
担当者		水野	直通	25-5027	内線	2734

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	3	解決策	1	具体的施策	5	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	青少年対策事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

亀岡の将来を担う青少年の健全育成にまちぐるみで取り組むとともに、多様な体験を通じて豊かな人間性の育成を促進するため、地域社会における住民組織による多様な取り組みが必要であることから、青少年健全育成のための実践活動を実施する住民組織の活動を継続かつ強化させることを目的とする。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	各町で結成された単位協議会及びそれらで構成された「亀岡市青少年育成地域活動協議会」の活動を支援し、青少年健全育成のまちづくりを推進する	青少年の健全な育成と実践活動を実施する住民組織及びその活動強化に効果があった。	1,732,000
平成24年度	各町で結成された単位協議会及びそれらで構成された「亀岡市青少年育成地域活動協議会」の活動を支援し、青少年健全育成のまちづくりを推進する。	青少年の健全な育成と実践活動を実施する住民組織及びその活動強化に効果があった。	1,755,000
平成25年度	各町で結成された単位協議会及びそれらで構成された「亀岡市青少年育成地域活動協議会」の活動を支援し、青少年健全育成のまちづくりを推進する。	青少年の健全な育成と実践活動を実施する住民組織及びその活動強化に効果があった。	1,750,800
平成26年度	各町で結成された単位協議会及びそれらで構成された「亀岡市青少年育成地域活動協議会」の活動を支援し、青少年健全育成のまちづくりを推進する。	青少年の健全な育成と実践活動を実施する住民組織及びその活動強化に効果があった。	1,703,800
平成27年度	各町で結成された単位協議会及びそれらで構成された「亀岡市青少年育成地域活動協議会」の活動を支援し、青少年健全育成のまちづくりを推進する。	青少年の健全な育成と実践活動を実施する住民組織及びその活動強化に効果があった。	1,863,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各町で結成された単位協議会及び亀岡市青少年育成地域活動協議会が実施する講演会や研修会の開催を支援することにより活動が強化できました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

「亀岡市青少年育成地域活動協議会」が実施している講演会や研修会を支援し、青少年の健全な育成に必要なまちづくりの活動に貢献することができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

青少年の健全育成を促進させるために、より活発に実践活動に取り組み継続させることが課題であると考えます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度以降については、今後も「亀岡市青少年育成地域活動協議会」が実施している活動を支援していくことで、未来の亀岡市を担っていく青少年の健全育成に必要な研修会や講演会の実施を進めていきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	子育て支援課	係	保育幼稚園係
担当者	小森	直通	25-5028	内線	2736	

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	3	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	一時保育の充実									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

亀岡市立第六保育所（2歳児以上）、太田保育園（生後3か月から・平成26年度まで）、亀岡あゆみ保育園、同分園（2箇所）（生後4か月から）、大井保育園、同分園、千代川保育園（生後8か月から）、りとつば（平成26年度から・生後6か月から）、亀岡市立幼稚園（平成27年度から・在園児のみ対象）で一時預かり事業を実施しています。

保護者の冠婚葬祭、急な仕事や病気、育児疲れの回復等、緊急的な保育サービスとして実施し、保育の必要な子どもを安心して預けられる場所を確保します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	一時預かりを行う保育所5か所、利用延べ日数3,700日	一時預かりを行う保育所6か所、利用延べ日数3,254日	8,311,870
平成24年度	一時預かりを行う保育所6か所、利用延べ日数3,800日	一時預かりを行う保育所6か所、利用延べ日数2,889日	8,447,200
平成25年度	一時預かりを行う保育所6か所、利用延べ日数3,900日	一時預かりを行う保育所6か所、利用延べ日数3,036日	7,927,200
平成26年度	一時預かりを行う保育所6か所、利用延べ日数5,000日	一時預かりを行う保育所7か所、利用延べ日数3,127日	10,661,200
平成27年度	一時預かりを行う保育所等6か所、市立幼稚園1か所利用延べ日数5,130日	一時預かりを行う保育所等5か所、市立幼稚園1か所利用延べ日数2,341日	9,894,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

亀岡市子ども・子育て事業計画に基づき、順調に進捗しました。第4次総合計画の計画期間内で毎年、一時預かり保育事業について体制を見直し、市民ニーズに対応することとしているため、目標到達年度から進捗度を算出しました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

平成26年度からNP0法人亀岡子育てネットワーク「りとつぽ」、平成27年度からは亀岡市立幼稚園で新規に事業を開始し、保護者の冠婚葬祭、急な仕事や病気、育児疲れの回復等、緊急的な保育サービスとして、保育の必要な子どもを安心して預けられる場所を確保することができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

保護者の育児に伴う心理的・肉体的負担の解消、急病や勤務形態の多様化に伴う一時的な預かりに対する需要に対応するため、実施保育所（園）の拡充等を目指していますが、保育士の確保等、受け入れ体制を整えるのに困難な面が課題となっています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

亀岡市子ども・子育て支援事業計画に基づきながら、地域の実情や保護者のニーズに応じた保育サービスを提供できるように、実施保育所（園）の拡充や事業内容の拡充を検討します。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	子育て支援課	係	保育幼稚園係
担当者		小森	直通	25-5028	内線	2736

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	3	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	延長保育、病児、病後児保育等の充実									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

延長保育事業については、市立第六保育所と私立7園で実施。保護者の就労形態や勤務時間帯の多様化に対応するため、18時から20時までの延長保育を実施しています。平成27年度からは、短時間保育認定子どもに対し、16時から18時までの延長保育の実施も開始しました。

病児・病後児保育事業については、上原医院で病児対応型、大井・千代川・亀岡あゆみ保育園において体調不良時対応型を実施しています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・延長保育、8カ所、230名 ・病児対応、1個所、470名 ・体調不良児対応、3カ所、1,700名	・延長保育、8カ所、363名 ・病児対応、1個所、613名 ・体調不良児対応、3カ所、3,401名	・延長保育事業 44,531,600 ・病児・病後児 22,253,763
平成24年度	・延長保育、8カ所、230名 ・病児対応、1個所、613名 ・体調不良児対応、3カ所、1,700名	・延長保育、8カ所、401名 ・病児対応、1個所、530名 ・体調不良児対応、3カ所、4,770名	・延長保育事業 44,488,040 ・病児・病後児 21,580,000
平成25年度	・延長保育、8カ所、230名 ・病児対応、1個所、490名 ・体調不良児対応、3カ所、1,700名	・延長保育、8カ所、521名 ・病児対応、1個所、517名 ・体調不良児対応、3カ所、4,639名	・延長保育事業 44,671,800 ・病児・病後児 21,580,000
平成26年度	・延長保育、9カ所、230名 ・病児対応、1個所、500名 ・体調不良児対応、3カ所、1,700名	・延長保育、8カ所、607名 ・病児対応、1個所、482名 ・体調不良児対応、3カ所、5,883名	・延長保育事業 44,822,200 ・病児・病後児 21,643,500
平成27年度	・延長保育、9カ所、240名 ・病児対応、1個所、500名 ・体調不良児対応、3カ所、1,700名	・延長保育、8カ所、1,380名 ・病児対応、1個所、501名 ・体調不良児対応、3カ所、5,931名	・延長保育事業 37,616,000 ・病児・病後児 21,641,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

亀岡市子ども・子育て事業計画に基づき、順調に進捗しました。第4次総合計画の計画期間内で毎年延長保育事業の体制の見直し及び整備を行い、市民ニーズに対応することとしているため、目標到達年度から進捗度を算出しました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

子ども・子育て支援新制度の開始にともない、平成27年度から延長保育については、短時間（16時まで）保育利用者についても延長保育を利用できることが制度化されました。それに伴い本市もさらなる保育ニーズに応える事業展開ができました。

また病児、体調不良児対応型事業を実施することにより、子育て社会のセーフティーネットの充実を図ることができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

施設の整備や保育士の確保等を整えることが困難であり課題となっていますが、利用者の生活実態及び意向を十分に踏まえながら、各事業の充実を図り、多様な保育サービスの提供体制を確保していきます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

亀岡市子ども・子育て支援事業計画に基づきながら、延長保育事業については、今後も保護者の就労形態や勤務時間帯の多様化に対応するため、保護者のニーズに合わせた受け入れ体制の整備を進めます。

病児・病後児保育事業については、医療機関で実施している病児保育の広報・周知を引き続き積極的に実施するとともに、保育所（園）で行う体調不良児対応型の病児・病後児保育の拡充を図ります。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	子育て支援課	係	保育幼稚園係
担当者		小森	直通	25-5028	内線	2736

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	3	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	多様化する保育ニーズに応じた保育所機能の整備									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

多様化した保育ニーズに対応するために、また施設の老朽化に対応するため保育所の整備を行う。
 私立保育所については、国、府補助金を活用し施設整備を行う。また、公立保育所については亀岡市公立保育所再編整備検討会議の報告を受けて亀岡市の公立保育所の現状、保育ニーズの多様化や地域の実情を踏まえ、亀岡市公立保育所再編整備計画を策定し整備を行う。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	亀岡市公立保育所再編整備検討会議からの市長への公立保育所の整備等に関する提言	「亀岡市公立保育所再編整備検討会議報告書」の提出	95,555
平成24年度	・ 亀岡市公立保育所の再編整備計画の策定 ・ 民間保育所の整備（2ヶ所）（太田保育園、大井保育園）	「亀岡市公立保育所再編整備検討計画（案）」の提出 民間保育園の整備（太田保育園、大井保育園）	123,850,000
平成25年度	・ 民間保育所の整備（1ヶ所）（くわの実保育園） ・ 公立保育所再編整備計画に係る具体的施策の検討	「亀岡市公立保育所再編整備検討計画（案）」関係者協議 民間保育園の整備（くわの実保育園）	62,127,000
平成26年度	・ 民間保育所の整備（1ヶ所）（亀岡あゆみ保育園） ・ 公立保育所再編整備計画に係る具体的施策の検討	民間保育園の整備（亀岡あゆみ保育園上西山分園）	71,530,000
平成27年度	・ 公立保育所再編整備計画に係る具体的施策の検討	・ 公立保育所再編整備計画に係る保育所の統合、施設整備の方向性の検討を実施	0

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

亀岡市子ども・子育て事業計画に基づき、順調に進捗しました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

民間保育園の整備を実施し、平成24年度から平成26年度にかけて定員を80人増やすことで、低年齢児（0～2歳）の受け入れ枠の拡充を図り、充実した保育サービスの提供を確保することができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

公立保育所の施設の老朽化・周辺部の保育所での定員割れ等、効率的な運用が求められていることから、施設整備の積極的な推進及び決定をする必要があります。子どもの集団保育の確保など質の高い保育を実施するために、早期に具体的施策を実施していきます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成27年度に検討した保育所の統合、施設整備の方向性をもとに、公立保育所の規模、配置の適正化を検討し、保育所運営の効率化を図り、保育ニーズに応じた保育所機能の整備や集団活動の効果の維持に努めます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	子育て支援課	係	子育て支援係・保育幼稚園係
担当者		水野	直通	25-5027	内線	2734

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	3	解決策	3	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	亀岡市子ども・子育て支援事業計画策定事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

平成27年4月から本格施行の「子ども・子育て支援新制度」の円滑な実施・移行に向けて、教育・保育体制の確保をはじめ、本市の社会的条件や施設整備状況等を総合的に勘案した子育て支援施策の推進・充実を図るため、市民意見等を踏まえ、平成26年度末に「亀岡市子ども・子育て支援事業計画」を策定した。

今後は、亀岡市子ども・子育て会議のもと、当該計画の進捗管理を行い、子ども・子育て支援施策のさらなる推進を図る。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度	「亀岡市子ども・子育て会議」の設置、「市民の子育て支援に関するアンケート調査（＝ニーズ調査）」の実施	ニーズ調査回収実績 ・就学前児童の保護者 829件 ・就学児童の保護者 836件	子ども・子育て支援経費（細目事業費） 2,102,380円
平成26年度	「亀岡市子ども・子育て会議」の運営、「亀岡市子ども・子育て支援事業計画」の策定	亀岡市子ども・子育て支援事業計画の策定・配付	子ども・子育て支援経費（細目事業費） 2,610,910円
平成27年度	「亀岡市子ども・子育て支援事業計画」に基づく「子ども・子育て支援新制度」の本格実施	会議開催1回	子ども・子育て支援経費（会議等所要経費） 181,200円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

本事業については、平成25年度の半ばから「亀岡市子ども・子育て会議」の設置等を行い、平成26年度から「亀岡市子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けて事業を実施しております。平成27年4月から本格施行の「子ども・子育て支援新制度」への円滑な移行を完遂するとともに、第4次総合計画期間内で実施体制の再点検を行っており、平成26年度末には同計画の策定を完了しているため、目標到達年度から進捗度を算出しております。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

子育て当事者の方の意見を反映し、より効果的に子ども・子育て支援施策を実施するため、「亀岡市子ども・子育て会議」を開催し、計画の内容について審議しました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

少子高齢化やあらゆる地域社会の変化によって子育てへの負担が大きくなっているため、子育てに伴う不安や負担をなくすことに努め、子育てサービスをより身近に受けられる機会が必要とされています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成26年度末に策定しました「亀岡市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、すべての子育て家庭の支援を行い、子どもが安全・安心で健やかに成長することができる環境づくりに取り組んでいきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	子育て支援課	係	子育て支援係
担当者		廣瀬	直通	25-5027	内線	2733

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	3	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	要保護児童対策事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

「亀岡市要保護児童対策地域協議会」を設置し、各種関係機関等との緊密な連携のもと、要保護児童に関する情報共有等を図り、児童虐待の防止・要保護児童の早期発見や適切な保護・支援に取り組む。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	「亀岡市要保護児童対策地域協議会」を中心に、関係機関との連携のもと、児童虐待の防止等に機動的に取り組む。	- 代表者会議 1回開催 - 連絡調整会議 10回開催 - 定例ケース会議 10回開催 - 個別ケース会議 37回開催	856,840
平成24年度	「亀岡市要保護児童対策地域協議会」を中心に、関係機関との連携のもと、児童虐待の防止等に機動的に取り組む。	- 代表者会議 1回開催 - 連絡調整会議 9回開催 - 定例ケース会議 9回開催 - 個別ケース会議 46回開催	1,497,804
平成25年度	「亀岡市要保護児童対策地域協議会」を中心に、関係機関との連携のもと、児童虐待の防止等に機動的に取り組む。	- 代表者会議 1回開催 - 連絡調整会議 9回開催 - 定例ケース会議 9回開催 - 個別ケース会議 40回開催	750,720
平成26年度	「亀岡市要保護児童対策地域協議会」を中心に、関係機関との連携のもと、児童虐待の防止等に機動的に取り組む。	- 代表者会議 1回開催 - 連絡調整会議 9回開催 - 定例ケース会議 9回開催 - 個別ケース会議 34回開催	93,942
平成27年度	「亀岡市要保護児童対策地域協議会」を中心に、関係機関との連携のもと、児童虐待の防止等に機動的に取り組む。	- 代表者会議 1回開催 - 連絡調整会議 9回開催 - 定例ケース会議 9回開催 - 個別ケース会議 30回開催	150,680

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

亀岡市次世代育成支援行動計画（後期計画）及び亀岡市子ども・子育て支援事業計画に基づき、概ね順調に進捗しました。
第4次総合計画計画期間内において毎年、児童虐待防止に取り組むこととしているため、目標到達年度から進捗度を算出しています。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

年々増加・複雑化する数多くの児童虐待ケースを抱えながらも、家庭相談員をはじめとした、各種関係機関等との緊密な連携のもと、要保護児童に関する情報共有等に努め、児童虐待の防止・要保護児童の早期発見や適切な保護・支援に取り組むことができました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

児童虐待・相談件数の増加と併せて、相談内容の複雑化・多様化に伴い、さらに高度な専門性や体制整備が必要であるとともに、学校や地域、保護者、京都府家庭支援総合センターなどをはじめとした各種関係機関とのより緊密な連携を図っていくことが求められます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

「亀岡市要保護児童対策地域協議会」をはじめ、各種関係機関等とのより緊密な連携を取り、要保護児童に関する情報共有等を図ることにより、今後も引き続き、児童虐待の防止・要保護児童の早期発見や適切な保護・支援に取り組みます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	子育て支援課	係	子育て支援係
担当者		酒井	直通	25-5027	内線	2733

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	3	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	ひとり親家庭等生活支援・相談事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

母子・父子自立支援員1名を配置し、ひとり親家庭等の経済的自立と生活の安定に向けた多種多様な相談・ニーズに対応するとともに、生活支援講習会事業・ひとり親家庭情報交換事業の実施を通じて、ひとり親家庭等の情報交換や相談の場を確保し、家庭生活の安定と家庭福祉の向上を図る。

また、就業支援施策（自立支援教育訓練給付金事業、高等職業訓練促進給付金事業）を実施し、ひとり親家庭等の経済的自立と生活の安定に取り組む。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	ひとり親家庭等の生活基盤の安定を図るため、自立・就業等を促進・支援する。	・情報交換事業等 12回開催 ・自立支援教育訓練給付 1人 ・高等職業訓練促進給付 7人	11,319,644
平成24年度	ひとり親家庭等の生活基盤の安定を図るため、自立・就業等を促進・支援する。	・情報交換事業等 11回開催 ・自立支援教育訓練給付 5人 ・高等職業訓練促進給付 6人	9,580,595
平成25年度	ひとり親家庭等の生活基盤の安定を図るため、自立・就業等を促進・支援する。	・情報交換事業等 11回開催 ・自立支援教育訓練給付 5人 ・高等職業訓練促進給付 5人	7,198,418
平成26年度	ひとり親家庭等の生活基盤の安定を図るため、自立・就業等を促進・支援する。	・情報交換事業等 11回開催 ・自立支援教育訓練給付 1人 ・高等職業訓練促進給付 6人	8,566,000
平成27年度	ひとり親家庭等の生活基盤の安定を図るため、自立・就業等を促進・支援する。	・情報交換事業等 12回開催 ・高等職業訓練促進給付 5人	6,543,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

亀岡市次世代育成支援行動計画（後期計画）及び亀岡市子ども・子育て支援事業計画に基づき、概ね順調に進捗している。

第4次総合計画計画期間内で毎年ひとり親家庭等の自立・就業等を促進・支援することとしているため、目標到達年度から進捗度を算出している。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

ひとり親家庭等の経済的自立と生活の安定に向けた多種多様な相談・ニーズに対応するとともに、生活支援講習会事業・ひとり親家庭情報交換事業の実施を通じて、ひとり親家庭等の情報交換や相談の場を確保し、家庭生活の安定と家庭福祉の向上を図った。

また、就業支援施策（自立支援教育訓練給付金事業、高等職業訓練促進給付金事業）を実施し、ひとり親家庭等の経済的自立と生活の安定に取り組んだ。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

新たにひとり親家庭等となられる世帯については、経済的自立と生活安定に向けた多様なニーズへの的確に対応する必要があることから、当該世帯に対する情報提供に努めるとともに、生活支援講習会事業及び情報交換事業を実施する事業者（委託）に対して、多様化するニーズへの的確な対応を促す。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

引き続き、ひとり親家庭等の経済的自立と生活の安定に向けた多種多様な相談・ニーズに対応するとともに、生活支援講習会事業・ひとり親家庭情報交換事業の実施を通じて、ひとり親家庭等の情報交換や相談の場を確保し、家庭生活の安定と家庭福祉の向上に努める。

なお、就業支援施策（自立支援教育訓練給付金事業、高等職業訓練促進給付金事業）の実施にあたっては、国により制度拡充が行われたところであり、ひとり親家庭等に広く周知し、経済的自立と生活の安定に取り組む。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	子育て支援課	係	子育て支援係
担当者		酒井	直通	25-5027	内線	2733

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	3	解決策	3	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	家庭相談員及び母子・父子自立支援員による相談体制									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

家庭相談員3名を配置し、児童虐待をはじめとする児童の養育等に関する相談を積極的に受け入れるとともに、母子・父子自立支援員1名を配置し、ひとり親家庭等の経済的自立と生活の安定に向けた多種多様な相談・ニーズに対応する。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	身近な場所で気軽に相談ができる体制を確保し、家庭児童相談・ひとり親家庭等の自立に向けた相談など多種多様な相談ニーズに応える。	・家庭児童相談 2,935件 ・ひとり親自立支援相談 422件	4,557,822
平成24年度	身近な場所で気軽に相談ができる体制を確保し、家庭児童相談・ひとり親家庭等の自立に向けた相談など多種多様な相談ニーズに応える。	・家庭児童相談 3,773件 ・ひとり親自立支援相談 438件	6,511,957
平成25年度	身近な場所で気軽に相談ができる体制を確保し、家庭児童相談・ひとり親家庭等の自立に向けた相談など多種多様な相談ニーズに応える。	・家庭児童相談 5,880件 ・ひとり親自立支援相談 434件	6,289,850
平成26年度	身近な場所で気軽に相談ができる体制を確保し、家庭児童相談・ひとり親家庭等の自立に向けた相談など多種多様な相談ニーズに応える。	・家庭児童相談 5,173件 ・ひとり親自立支援相談 465件	6,909,293
平成27年度	身近な場所で気軽に相談ができる体制を確保し、家庭児童相談・ひとり親家庭等の自立に向けた相談など多種多様な相談ニーズに応える。	・家庭児童相談 6,572件 ・ひとり親自立支援相談 477件	7,171,601

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

亀岡市次世代育成支援行動計画（後期計画）及び亀岡市子ども・子育て支援事業計画に基づき、概ね順調に進捗している。
第4次総合計画計画期間内で毎年相談体制を整え、市民ニーズに対応することとしているため、目標到達年度から進捗度を算出している。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

身近な場所で気軽に相談ができる体制を確保し、家庭児童相談・ひとり親家庭等の自立に向けた相談など多種多様な相談・ニーズへの対応を図ったところである。相談件数が増加傾向にあり、相談体制の充実と市民への浸透によるものと考えている。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

身近な場所で気軽に相談ができる体制を確保し、市民への浸透がみられる一方で、相談件数が増加傾向にある。

相談内容も多種多様であり、中には困難な相談等も含まれる中、従来どおりの気軽に相談できる場所を確保するためには、相談員・支援員の負担増大への対策についても検討する必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

引き続き「身近な場所で気軽に相談できる」体制を確保するとともに、児童福祉法等の関係法令の改正状況等を踏まえながら、市民ニーズへの対応に支障が生じないように体制確保に努める。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	高齢福祉課	係	高齢者係
担当者		今西 洋希	直通	0771-25-5032	内線	2776

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	4	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	老人クラブ育成事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

高齢者に、生きがいと健康づくりや地域貢献活動に取り組んでいただくため、また楽しく豊かな毎日を送っていただくため、拠点となる老人クラブの活動や組織の育成支援を目的に必要な経費の一部を助成します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・ 亀岡市老人クラブ連合会の事業活動費の助成 ・ 単位老人クラブの活動助成	単位老人クラブ 59クラブ 会員数 3,322人	(補助金) 3,600,224円
平成24年度	・ 会員の意向調査（アンケート）事業を助成 ・ 現状の会員数3,152人を確保	平成23年度末から会員数は減少したが、就業率・就業延人数・受注件数等は増加	(補助金) 3,994,864円
平成25年度	・ 会員の意向を反映させた事業を助成 ・ 会員数3,252人（100人増）	単位老人クラブ 56クラブ 会員数 3,001人	(補助金) 3,483,992円
平成26年度	・ 会員の意向を反映させた事業を助成 ・ 会員数3,352人（100人増）	単位老人クラブ 56クラブ 会員数 2,848人	(補助金) 3,426,416円
平成27年度	・ 会員の意向を反映させた事業を助成 ・ 会員数3,452人（100人増）	単位老人クラブ 52クラブ 会員数 2,705人	(補助金) 3,183,320円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年度における老人クラブ会員数の目標を3,452人としており、平成27年度において2,705人の会員数を確保したため、78%の達成率とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

老人クラブが実施する社会奉仕活動、生きがいつくり、健康づくりなど各種活動を支援することができた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

会員年齢の高齢化が問題で、クラブ数や会員数が年々減少している。また、情報発信の不足から新たな会員獲得が困難な状況にある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も、社会奉仕活動、生きがいつくり、健康づくりの促進につなげていけるよう、継続的に支援を行う。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	高齢福祉課	係	高齢者係
担当者		明石 将人	直通	0771-25-5032	内線	2776

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	4	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	老人生きがい対策事業（中央老人センター）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

高齢者の生きがい創出と健康づくりを推進し、いきいきとした高齢期を過ごせるよう、総合福祉センター（中央老人センター）において各種教養講座の開講やスポーツサークルの活動等を実施します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・高齢者の生きがい創出と健康づくり ・各種講座開講 ・スポーツサークル活動実施	登録人数が1,196人となり前年度と比べ75人増加	（業務委託料） 3,741,452円
平成24年度	・高齢者の生きがい創出と健康づくり ・各種講座開講 ・スポーツサークル活動実施	登録人数が825人となり前年度と比べ371人減少 参加延人数16,018人	（業務委託料） 3,733,251円
平成25年度	・高齢者の生きがい創出と健康づくり ・各種講座開講 ・スポーツサークル活動実施	登録人数が843人となり前年度と比べ18人増加 講座開講回数818回で前年度760回より58回増加 参加延人数15,655人	（業務委託料） 3,557,697円
平成26年度	・高齢者の生きがい創出と健康づくり ・各種講座開講 ・スポーツサークル活動実施	登録人数が1,089人となり前年度と比べ246人増加 講座開講回数802回で前年度818回より16回減少 参加延人数16,595人	（業務委託料） 3,536,042円
平成27年度	・高齢者の生きがい創出と健康づくり ・各種講座開講 ・スポーツサークル活動実施	登録人数が857人となり前年度と比べ232人減少 講座開講回数881回で前年度802回より79回増加 参加延人数14,726人	（業務委託料） 3,517,127円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

進捗度については、平成27年度までの当初目標を達成すると100%となるよう、年度ごとの達成割合を按分した20%に設定しています。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

高齢者の生きがい創出と健康づくりを推進するため、各種事業を実施することができた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

各講座、サークルの登録人数が増減を繰り返しており、安定して増加させていく必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も高齢者の生きがい創出と健康づくりを推進するため、継続的に各種事業を実施していく。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	高齢福祉課	係	高齢者係
担当者		今西 洋希	直通	0771-25-5032	内線	2776

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	4	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	敬老事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

高齢者の長寿を祝うため、米寿・白寿等の記念品を対象者へ贈呈するとともに、各町自治会等が実施する敬老会事業を助成しています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・敬老記念品を対象者へ贈呈 ・各町自治会等が実施する敬老会事業を助成	・記念品贈呈事業 992人 ・敬老会助成事業 30団体	記念品・補助金 22,966,958円
平成24年度	・敬老記念品を対象者へ贈呈 ・各町自治会等が実施する敬老会事業を助成	平成23年度末から会員数は減少したが、就業率・就業延人数・受注件数等は増加	記念品・補助金 22,523,473円
平成25年度	・敬老記念品を対象者へ贈呈 ・各町自治会等が実施する敬老会事業を助成	・記念品贈呈事業 1,101人 ・敬老会助成事業 30団体	記念品・補助金 23,115,577円
平成26年度	・敬老記念品を対象者へ贈呈 ・各町自治会等が実施する敬老会事業を助成	・記念品贈呈事業 1,707人 ・敬老会助成事業 31団体	記念品・補助金 25,058,206円
平成27年度	・敬老記念品を対象者へ贈呈 ・各町自治会等が実施する敬老会事業を助成	・記念品贈呈事業 1,138人 ・敬老会助成事業 31団体	記念品・補助金 25,211,231円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

高齢者の長寿を祝い各節目の記念品を対象者へ贈呈するとともに、各町自治会が実施する敬老会事業を助成しています。進捗度については、平成27年度までの当初目標を達成すると100%となるよう、年度ごとの達成割合を按分した20%に設定しています。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

長寿を祝い、地域の中で支え合う安全・安心なまちづくりの促進を行った。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

高齢者が年々増加しており、事業の対象者も増加することから、事業経費を考慮しながら実施していく必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

喜寿、米寿の敬老記念品を廃止する。また、敬老事業補助金を廃止し、一括して市主催の敬老事業を実施する。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	高齢福祉課	係	高齢者係
担当者		今西 洋希	直通	0771-25-5032	内線	2776

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	4	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	高齢者生活支援事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

ひとり暮らし高齢者等が安心して自立した生活が行えるように各種の支援事業を実施しています。 ・緊急通報装置設置事業 ・寝具洗濯乾燥消毒事業 ・福祉電話設置事業 ・安心長寿の福祉助成事業 ・高齢者自立支援住宅改修助成事業 ・生活援助助成事業 - 他

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	ひとり暮らし高齢者等が安心して自立した生活が行えるように各種の支援事業を実施した。	・緊急通報装置事業336件 ・安心長寿の福祉助成金509件	委託料・補助金等 21,733,514円
平成24年度	対象年齢を見直し、ひとり暮らし高齢者等が安心して自立した生活が行えるように各種の支援事業を実施します。	平成23年度末から会員数は減少したが、就業率・就業延人数・受注件数等は増加	委託料・補助金等 14,587,449円
平成25年度	対象年齢を見直し、ひとり暮らし高齢者等が安心して自立した生活が行えるように各種の支援事業を実施します。	・緊急通報装置事業341件 ・安心長寿の福祉助成金562件	委託料・補助金等 15,832,439円
平成26年度	対象年齢を見直し、ひとり暮らし高齢者等が安心して自立した生活が行えるように各種の支援事業を実施します。	・緊急通報装置事業348件 ・安心長寿の福祉助成金584件	委託料・補助金等 15,845,640円
平成27年度	対象年齢を見直し、ひとり暮らし高齢者等が安心して自立した生活が行えるように各種の支援事業を実施します。	・緊急通報装置事業322件 ・安心長寿の福祉助成金558件	委託料・補助金等 15,375,737円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

事業経費を見直し、ひとり暮らし高齢者等が自立した生活が行えるように各種の支援事業を実施しています。 ・緊急通報装置設置事業 ・寝具洗濯乾燥消毒事業 ・福祉電話設置事業 ・安心長寿の福祉助成事業 ・高齢者自立支援住宅改修助成事業 ・生活援助助成事業 - 他 進捗度については、平成27年度までの当初目標を達成すると100%となるよう、年度ごとの達成割合を按分した20%に設定しています。
--

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

ひとり暮らし高齢者等が安心して自立した生活が行えるように、各種事業を実施することができた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

高齢者が年々増加しており、事業の対象者も増加することから、事業経費を考慮しながら実施していく必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も、ひとり暮らし高齢者等が安心して自立した生活が行えるよう、継続的に各種事業を実施していく。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	高齢福祉課	係	高齢者係
担当者		明石 将人	直通	0771-25-5032	内線	2776

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	4	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	3
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	老人生きがい対策事業（シルバー人材センター）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

高齢者の知識や経験を活かした就労機会を確保し、就業を通じた生きがい創出と社会参加を促進するため、公益社団法人亀岡市シルバー人材センターに運営補助金を交付しています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・ 高齢者の就労機会確保 ・ 高齢者の生きがい創出 ・ 高齢者の社会参加促進	平成22年度末577人の会員数が23年度末には603人となり、26人増加	シルバー人材センター運営補助金 3,346,000円
平成24年度	・ 高齢者の就労機会確保 ・ 高齢者の生きがい創出 ・ 高齢者の社会参加促進	平成23年度末から会員数は減少したが、就業率・就業延人数・受注件数等は増加	シルバー人材センター運営補助金 3,346,000円
平成25年度	・ 高齢者の就労機会確保 ・ 高齢者の生きがい創出 ・ 高齢者の社会参加促進	平成24年度末から会員数・就業延人数・受注件数等は増加	シルバー人材センター運営補助金 2,868,000円
平成26年度	・ 高齢者の就労機会確保 ・ 高齢者の生きがい創出 ・ 高齢者の社会参加促進	平成25年度末から受注件数・契約金額は増加	シルバー人材センター運営補助金 2,868,000円
平成27年度	・ 高齢者の就労機会確保 ・ 高齢者の生きがい創出 ・ 高齢者の社会参加促進	平成26年度末から受注件数・契約金額は増加	シルバー人材センター運営補助金 2,390,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

年度によって会員数の増減が発生することは避けられません。平成27年度においては前年度と比較して事業受注件数は増加しており、業務が適正に執行されていると考えられます。今後もセンターと市が連携し、高齢者の就労機会確保と生きがい創出、社会参加の促進を続けていきます。 進捗度については、平成27年度までの当初目標を達成すると100%となるよう、年度ごとの達成割合を按分した20%に設定しています。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

定年退職者等の高齢者の希望に応じた就業機会の確保、生きがいの充実、社会参加の推進を図ることができた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

補助金の圧縮を図ってきたが、補助金額が妥当かどうか、今後も継続的に検討する必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も継続的に高齢者の雇用を促進し、福祉の増進を図っていく。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	高齢福祉課	係	高齢者係
担当者		明石 将人	直通	0771-25-5032	内線	2776

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	4	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	4
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	老人福祉施設事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

高齢者の生きがいがづくりや社会参加、介護予防の推進等につながる事業等を実施するため老人福祉センター・介護予防センターを設置しています。効率的な管理運営を図るため自治会に委託しています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	老人福祉センター・介護予防センターの管理を自治会に委託	・老人福祉センター・曾我部いこいの家・畑野ふれあいセンターの管理委託	委託料 3,153,000円
平成24年度	老人福祉センター・介護予防センターの管理を自治会に委託	平成23年度末から会員数は減少したが、就業率・就業延人数・受注件数等は増加	委託料 3,153,000円
平成25年度	老人福祉センター・介護予防センターの管理を自治会に委託	・老人福祉センター・曾我部いこいの家・畑野ふれあいセンターの管理委託	委託料 3,153,000円
平成26年度	老人福祉センター・介護予防センターの管理を自治会に委託	・老人福祉センター・曾我部いこいの家・畑野ふれあいセンターの管理委託	委託料 3,185,943円
平成27年度	老人福祉センター・介護予防センターの管理を自治会に委託	・老人福祉センター・曾我部いこいの家・畑野ふれあいセンターの管理委託	委託料 3,185,943円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

高齢者の生きがいがづくりや社会参加、介護予防の推進等につながる事業等を実施するため老人福祉センター・介護予防センターを設置し、毎年度地元自治会に管理運営を委託し効率的な管理運営を図っています。

進捗度については、平成27年度までの当初目標を達成すると100%となるよう、年度ごとの達成割合を按分した20%に設定しています。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

高齢者の生きがいがづくりや社会参加、介護予防の推進等につながる事業等を実施するため老人福祉センター・介護予防センターを設置し、適切な管理運営を行うことができた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

固定された利用者ではなく、新たな利用者が増えるよう取り組んでいく必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も、高齢者の生きがいがづくりや社会参加、介護予防の推進等につなげていけるよう、適切な施設の管理運営を継続的に行う。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	高齢福祉課	係	
担当者		永田順子	直通	0771-25-5127	内線	2778

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	4	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	二次予防事業対象者把握事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

主として要介護状態等となるおそれの高い状態にあると認められる65歳以上の者を対象として実施する「二次予防事業」は、要介護状態等になることの予防を目的としています。「二次予防事業対象者把握事業」は、この二次予防事業の対象者を決定することを目的として基本チェックリストの配布、回収により情報収集し、必要に応じた個別訪問、健康や食生活などの知識の普及や運動・口腔に関する相談、介護予防教室等への勧奨を行なうものです。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	65歳以上で介護認定を受けていない方(全数)に対して基本チェックリストの配布・回収を行い、未返却の方(一部)に対して個別訪問を行う。	基本チェックリストを16,474人に配布し、11,949人から回収。未返却者759人に訪問を行った。	高齢者把握調査業務委託料 11,298,000円 対象者抽出業務委託料 498,750円
平成24年度	H23年度調査で把握した二次予防事業対象者4,381人に対して個別訪問を行う。 新65歳の方に基本チェックリストの配布回収を行い、二次予防事業対象者については個別訪問を行う。	当初目標の二次予防事業対象者4,381人のうち、介護予防効果の高いと思われる70～79歳(2,111人)に対して個別訪問を行った。新65歳の方2,364人に基本チェックリストの配布を行った。回収数1,800人(有効回答数1,793人)で二次予防事業対象者262人の個別訪問を行った。	二次予防事業対象者把握事業業務委託料 1,277,850円 対象者抽出業務委託料 367,500円
平成25年度	65歳以上で介護認定を受けていない方(全数)に対して基本チェックリストの配布・回収を行う。	基本チェックリストを18,435人に配布し、11,852人から回収。その結果、二次予防対象者3,956人、未回答者6,583人。	予算：二次予防事業対象者把握事業業務委託料 10,221,750円 対象者抽出業務委託料 682,500円 調査結果分析業務委託料 600,000円
平成26年度	H25年度調査で把握した二次予防事業対象者及び未返却者に対して優先度をつけ個別訪問を行う。	平成25年度の基本チェックリストの結果を踏まえ二次予防対象者3,956人、未回答者6,583人の内、二次371人、未回答者40人に訪問	地域包括ケア総合交付金 高齢者介護予防プロジェクト展開事業（事業評価事業）4,969,000円
平成27年度	平成25年度の基本チェックリストの結果を踏まえ二次予防対象者3,956人、未回答者6,583人の内、二次2,250人に訪問予定	平成25年度の基本チェックリストの結果を踏まえ二次予防対象者3,956人、未回答者6,583人の内、二次1,429人に訪問（平成26年の二次371人と合わせて1,800人訪問）	地域包括ケア総合交付金 高齢者介護予防プロジェクト展開事業（事業評価事業）3,641,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

目標年度の訪問予定件数は2,250件であり、実績人数1,800人に対する達成率は80%であることから目標進捗状況を80%としました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

平成25年度調査の回答をした二次予防対象者1,800人に訪問を実施。当初目標数値（2,250人）の80%。一方、二次予防対象者全数（3,956人）のうち528人は介護認定を受けるための訪問調査を行っていることから、全体の訪問件数は2,250人を達成していると判断している。

当該事業の実施により、

- ・地域の高齢者の生活や健康状況を把握し、必要な介護予防等の情報提供等が行えた。
- ・平成30年度から始まる介護予防・日常生活支援総合事業に向けて住民ニーズの把握資料の基礎とした。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

調査回答を基に、二次予防対象者を抽出して訪問したが、回答内容と生活状況が異なる場合もあった。また、訪問調査ではマンパワーの問題があるため、効果的な方法等を検討する必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

改正介護保険法施行に伴い、二次予防の概念は無くなりました。本市としては平成29年度から新しい介護予防日常生活支援総合事業に移行するため、当該事業は平成27年度を以て終了とします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進捗管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	健康増進課	係	健康企画係
担当者		谷口正二	直通	25-5004	内線	8212

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	4	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	健康づくり推進会議（「かめおか健康プラン21」に基づく健康づくり運動の実施）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

市民一人ひとりの健康づくりを、亀岡全体の健康づくり運動として盛り上げていく行動計画「かめおか健康プラン21」を策定しています。計画には、目指すべき「市民」と「まち」の姿を、6つの健康づくり領域とライフステージから描いています。目指すべき姿の実現に向けて市民一人ひとりが健康づくり（高齢期においては介護予防）の大切さに築いて行動すること、そして地域社会が個人の健康づくりを応援することをうたっており、計画の啓発活動、見直しを実施するとともに、関係機関とともに方策の検討、実施をするものです。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	平成22年度実施の中間評価を受け、関係団体の活動内容から今後の活動について考える。	関係団体（健康づくり推進会議構成団体）からの活動実態を収集し、各領域、ライフステージごとの活動が整理できた。	会議学識経験者報酬 38,800
平成24年度	平成27年度目標数値（健康で笑顔で過ごせていると感じる人の割合が50%）達成に向けた取り組みを検討する。	保健所実施の健康づくり運動についても情報を共有 団体間で協働して実施できる活動について持ち寄り今後の方向性を議論した	学識経験者報酬 19,400
平成25年度	平成27年度目標数値（健康で笑顔で過ごせていると感じる人の割合が50%）達成に向けた取り組みを検討する。	中間評価から取り組みの必要性が指摘されているところや歯についての取り組み状況や課題について、情報共有し推進の方針を検討できた。	学識経験者報酬 38,800
平成26年度	計画の見直しに向けた調査を実施する。	5つの階層を対象としてアンケート調査を実施した。	学識経験者報酬 調査費用 1,408,651
平成27年度	計画の見直しを実施する。	アンケート調査や国・府の動向、パブリックコメント等を踏まえ、健康づくり推進会議において第2次亀岡市健康増進計画策定内容を協議した。	委員報酬 170,000

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

単年度の達成割合を20%とし、平成27年度の目標達成を目指します。アンケート調査や国・府の動向、パブリックコメント等を踏まえ、健康づくり推進会議において第2次亀岡市健康増進計画策定内容を協議し、今後の事業展開に向けた指針を示すことができた。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

健康増進事業の推進は、乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じて、栄養・食生活、身体活動・運動等の健康づくりの領域ごとに取り組を進めており、その取組範囲は広く、行政機関のみで対応できるものではないことから、健康づくり推進会議を通じて、関係機関・団体との連携及び意見提示いただくことにより、その取組範囲全体への事業展開を図ることが可能となっている。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

家庭、地域、行政等のそれぞれの主体性・自主性のもとに「健康づくり」という共通の目的に向け取り組みを進めこととなる。また、かめおか健康プラン21（第2次亀岡市健康増進計画）においては、その目標と具体的な取り組みを設定しており、実効性のあるものとするためには、今後、適正な進行管理と評価に留意する必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

かめおか健康プラン21（第2次亀岡市健康増進計画）においては、取組事項やその目標を設定しています。また、家庭、地域、行政等がそれぞれの主体性・自主性のもとに「健康づくり」という共通の目的に向け協働し、推進していくこととしており、実効性のあるものとするためには、今後、適正な進行管理と評価に留意する必要がある。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	高齢福祉課	係	いきいき支援係
担当者		安田聖志	直通	0771-25-5127	内線	2779

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	4	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	3
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	筋力向上トレーニング教室・脳力アップ教室・健康づくり教室・ぼちぼち活動教室									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

要介護・要支援状態になるおそれの高い状態と認められる65歳以上の市民を中心に、介護予防に関する知識の普及・啓発をおこなっています。要介護・要支援状態の予防を目的として、個々の状態に応じて運動器の機能向上・栄養状態の改善・口腔機能の向上・認知力の向上にも力を入れています。実施教室は、直営型の筋力向上トレーニング教室・脳力アップ教室、委託型の健康づくり教室・ぼちぼち活動教室を運営しました。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度			
平成24年度		平成23年度末から会員数は減少したが、就業率・就業延人数・受注件数等は増加	・衛生費 (20,560円) ・地域支援事業費 (17,140,847円)
平成25年度	・実施回数（335回） ・受講者数（345人）	・実施回数（335回） ・受講者数（241人）	・衛生費 (31,571円) ・地域支援事業費 (15,821,740円)
平成26年度	・実施回数（370回） ・受講者数（380人）	・実施回数（312回） ・受講者数（235人）	・衛生費 (421,022円) ・地域支援事業費 (23,451,084円)
平成27年度	・実施回数（312回） ・受講者数（280人）	・実施回数（309回） ・受講者数（218人）	・衛生費 (118,944円) ・地域支援事業費 (22,192,265円)

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

実施回数については、予定実施回数312回に対して、実施回数309回に留まった。しかし、これは警報発令等による不可抗力によるものであり、目標達成率は100%であったと考える。受講者数については、定員合計280人に対して、受講者数218人に留まった。よって、目標達成率は78%となる。進捗度については、両データより90%とする。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

介護予防への取り組みが必要な者に対して、主に運動器の機能向上及び認知機能の向上に向けた技能の普及及び知識の啓発が出来たものとする。また、修了後の自律した介護予防活動についても、適切な動機付けが出来たものとする。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

特に、委託により実施している教室において、利用者の掘り起こしが出来ず、利用者数の定員割れが続いている状況である。また、また直営型に比べてリピーター率が非常に多く、修了後の自立した介護予防活動に繋がっていないことが見受けられる。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年度については、平成27年度までと同様の事業運営とする。
平成29年度以降については、地域支援事業の新総合事業への移行を受けて、事業内容の刷新に取り組む。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	高齢福祉課	係	いきいき支援係
担当者		安田聖志	直通	25－5127	内線	2779

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	4	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	介護予防講師派遣事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

介護予防に関する知識の普及を図ることにより自律して介護予防活動が実践できるよう、65歳以上の市民が参加する団体に対して派遣要請の内容に適した専門家を派遣し、介護予防についての講義を行います。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度		・実施回数25回 ・受講者数（858人）	健康教育実施費 （250,000円）
平成24年度	・実施回数（30回） ・受講者数（900人）	平成23年度末から会員数は減少したが、就業率・就業延人数・受注件数等は増加	健康教育実施費 （250,000円）
平成25年度	・実施回数（30回） ・受講者数（900人）	・実施回数16回 ・受講者数（562人）	健康教育実施費 （1,556,069円）
平成26年度	・実施回数（30回） ・受講者数（900人）	・実施回数12回 ・受講者数（441人）	介護予防講師派遣事業費 （548,000円）
平成27年度	・実施回数（30回） ・受講者数（900人）	・実施回数18回 ・受講者数（532人）	介護予防講師派遣事業費 （502,000円）

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成23年度の当初目標が不明なため、平成24年度からの目標に対する進捗状況とする。
実施回数は目標120回に対して62回であり、目標達成率は52%となる。受講者数は目標3,600人に対して2,551人であり、目標達成率は71%となる。
進捗度については、両データより60%とする。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

受講者に対しては、介護予防に関する正しい知識の普及啓発が達成できたものとする。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

派遣要請のあった団体に対して講師を派遣するという形態をとっていることから、申請団体の固定化や新規申請団体の伸び悩みがある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

従来の受け身の体制ではなく、発信型の講座として介護予防出張教室を立ち上げる。これにより、新規受講者を開拓し、より多くの人に介護予防に関する正しい知識の普及啓発を図る。また、従来は講義内容には無かった介護保険制度に関する正しい知識の普及啓発を図ることにより、介護保険の利用について最適な行動がとれるようにする。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	高齢福祉課	係	いきいき支援係
担当者		乾 彰展	直通	0771-25-5127	内線	2779

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	4	解決策	2	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	包括支援センター等業務委託									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を続けられるように、介護・福祉・保健・医療などの支援を行うための総合相談窓口として、地域包括支援センターを設置しています。
前年度に引き続き、介護予防事業の更なる推進のため、市内の地域包括支援センター5施設を委託運営しています。地域包括ケアの充実に向け、地域包括支援センターの在り方について深耕するべく事前協議にも着手しました。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	市内地域包括支援センター3施設を委託運営	市内地域包括支援センター3施設を委託運営	（地域包括支援センター運営委託料） 47,900,000円
平成24年度	市内地域包括支援センターを3施設から5施設に増やし委託運営	平成23年度末から会員数は減少したが、就業率・就業延人数・受注件数等は増加	（地域包括支援センター運営委託料） 76,860,000円
平成25年度	市内地域包括支援センター5施設を委託運営	市内地域包括支援センター5施設を委託運営	（地域包括支援センター運営委託料） 70,160,000円
平成26年度	市内地域包括支援センター5施設を委託運営	市内地域包括支援センター5施設を委託運営	（地域包括支援センター運営委託料） 70,160,000円
平成27年度	市内地域包括支援センター5施設を委託運営	市内地域包括支援センター5施設を委託運営	（地域包括支援センター運営委託料） 84,000,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

当該事業は毎年度継続性のある業務を行っていくため、進捗度については、平成27年度までの毎年度の当初目標を達成すると100%となるよう、年度ごとの達成割合を按分した20%に設定しています。
平成27年度は当初目標どおり市内5施設を委託運営し、介護予防ケアマネジメント業務、権利擁護業務、総合相談業務、ケアマネジメント業務を実施しました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

市内高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活が続けらるよう、介護・福祉・保健・医療などの支援を行う総合相談窓口としての機能を果たせた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

7つの圏域に対し現在包括支援センター数が5つであることから、今後圏域数に合わせた包括支援センター配置を行っていく必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

圏域数に合わせた地域包括支援センターの配置について、地域包括支援センター運営協議会などを通じて、検討を行い、必要な配置数について設置を行っていく。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	高齢福祉課	係	高齢者係
担当者		明石 将人	直通	0771-25-5032	内線	2776

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	4	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	いきいき長寿プラン推進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

「亀岡市いきいき長寿プラン（亀岡市高齢者福祉計画・第5期亀岡市介護保険事業計画）」は、社会情勢の変化や今後の高齢化への対策をより一層推進するため、本市が目指すべき高齢者福祉及び介護保険制度の運営に関する基本理念と計画目標を定め、具体的に取り組むべき施策を明らかにすることを目的に策定し、計画推進するものです。なお、第5期の計画期間は平成24年度から平成26年度までの3年間で、平成27年度からは第6期の計画が始まります。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・「亀岡市いきいき長寿プラン」の推進と新プラン（亀岡市高齢者福祉計画・第5期亀岡市介護保険事業計画）策定	「亀岡市いきいき長寿プラン（亀岡市高齢者福祉計画・第5期亀岡市介護保険事業計画）」の策定	（プラン策定業務委託料、プラン推進協議会開催経費等） 2,557,000円
平成24年度	・「亀岡市いきいき長寿プラン」の推進 ・計画の進捗状況を確認	平成23年度末から会員数は減少したが、就業率・就業延人数・受注件数等は増加	（いきいき長寿プラン推進協議会開催経費等） 55,000円
平成25年度	・「亀岡市いきいき長寿プラン」の推進 ・計画の進捗について検証	「亀岡市いきいき長寿プラン（亀岡市高齢者福祉計画・第5期亀岡市介護保険事業計画）」の推進	（いきいき長寿プラン推進協議会開催経費等） 90,000円
平成26年度	・「亀岡市いきいき長寿プラン」の推進 ・計画の見直し	「亀岡市いきいき長寿プラン（亀岡市高齢者福祉計画・第6期亀岡市介護保険事業計画）」の推進及び計画の見直し、新プラン策定	（プラン策定業務委託料、プラン推進協議会開催経費等） 2,679,200円
平成27年度	・「亀岡市いきいき長寿プラン」の推進 ・計画の進捗状況を確認	「亀岡市いきいき長寿プラン（亀岡市高齢者福祉計画・第6期亀岡市介護保険事業計画）」の推進	（いきいき長寿プラン推進協議会開催経費等） 170,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

「亀岡市いきいき長寿プラン（亀岡市高齢者福祉計画・第5期亀岡市介護保険事業計画）」は、平成24年度から26年度を計画期間としているため、計画策定をした時点（平成23年度）で40%の進捗状況とし、以降は毎年15%程度の進捗を見込みます。（平成27年度までの進捗率100%）
平成27年度は、現行のプラン（亀岡市高齢者福祉計画・第6期亀岡市介護保険事業計画）の進捗状況を確認しつつ、見直しに向け準備を進めました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

亀岡市いきいき長寿プランをもとに、介護（支援）サービス基盤の整備促進等、各種事業を推進した。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

何のためにデータをとるのか明確な目的を持つことで、今後より良いプランを作成することができます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

高齢者の現状を正しく把握し、地域包括ケアシステムの構築を実現するため、第7期亀岡市いきいき長寿プランを作成します。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	高齢福祉課	係	介護保険係
担当者		高橋依子	直通	0771-25-5182	内線	2772

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	4	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	15
②事業名	介護サービス事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

介護保険事業計画に基づき、要介護（支援）者が状態に応じて必要な居宅サービスや施設サービスを利用できるよう、サービス供給体制の充実を図ります。 目指す目標は、介護保険地域密着型サービス事業所数を平成27年度に16事業所とします。										
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	- 介護保険地域密着型サービス事業所数16事業所 - 介護保険事業計画策定	（現状） ・小規模多機能型居宅介護事業所 4事業所 ・認知症高齢者グループホーム 6事業所 ・認知症対応型通所介護事業所 1事業所 計 11事業所 ○第5期介護保険事業計画策定	介護保険給付費 4,918,667,442円
平成24年度	介護保険地域密着型サービス事業所数16事業所	平成23年度末から会員数は減少したが、就業率・就業延人数・受注件数等は増加	介護保険給付費 5,202,486,869円
平成25年度	介護保険地域密着型サービス事業所数16事業所	（現状） ・小規模多機能型居宅介護事業所 5事業所 ・認知症高齢者グループホーム 7事業所 ・認知症対応型通所介護事業所 2事業所 計 14事業所 ○第5期介護保険事業計画推進	介護保険給付費 5,204,737,271円
平成26年度	- 介護保険地域密着型サービス事業所数16事業所 - 介護保険事業計画策定	（現状） ・小規模多機能型居宅介護事業所 5事業所 ・認知症高齢者グループホーム 7事業所 ・認知症対応型通所介護事業所 2事業所 計 14事業所 ○第6期介護保険事業計画策定	介護保険給付費 5,557,621,498円
平成27年度	介護保険地域密着型サービス事業所数16事業所	（現状） ・小規模多機能型居宅介護事業所 6事業所 ・認知症高齢者グループホーム 8事業所 ・認知症対応型通所介護事業所 2事業所 計 16事業所 ○第6期介護保険事業計画推進	介護保険給付費 5,772,015,532円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年度に2事業所新規開設となり、当初目標16事業所に達したため100%の達成率とする。
--

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

高齢者がいつまでも住み慣れた地域で、安心して暮らすことができるよう、介護保険事業計画に基づき、要介護（支援）者が状態に応じて必要な居宅サービスや施設サービスを利用できるよう、サービス供給体制の充実を図った。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

高齢者の増加に伴い、各種サービスへのニーズも高まっており、特に施設サービスについては、待機者が発生している。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

被保険者の負担を勘案しながら、各種サービスの提供をはじめ介護施設の計画的な整備など、介護保険制度の適切な運用に努めていく。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	高齢福祉課	係	高齢者係
担当者		今西 洋希	直通	0771-25-5032	内線	2776

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	4	解決策	3	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	家族介護支援事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

在宅で高齢者を介護している人を支援するための事業を実施しています。 ・在宅ねたきり老人等介護用品支給事業 ・徘徊高齢者家族介護者安心事業 ・在宅高齢者介護激励金・家族介護者慰労金 他										
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	在宅で高齢者を介護している人の経済負担の軽減等を支援するための事業を実施した。	在宅ねたきり老人等介護用品支給事業 176件 他	委託料・扶助費 2,500,254円
平成24年度	在宅で高齢者を介護している人の経済負担の軽減等を支援するための事業を実施する。	平成23年度末から会員数は減少したが、就業率・就業延人数・受注件数等は増加	委託料・扶助費 2,400,721円
平成25年度	在宅で高齢者を介護している人の経済負担の軽減等を支援するための事業を実施する。	在宅ねたきり老人等介護用品支給事業 175件 他	委託料・扶助費 1,729,196円
平成26年度	在宅で高齢者を介護している人の経済負担の軽減等を支援するための事業を実施する。	在宅ねたきり老人等介護用品支給事業 167件 他	委託料・扶助費 2,384,854円
平成27年度	在宅で高齢者を介護している人の経済負担の軽減等を支援するための事業を実施する。	在宅ねたきり老人等介護用品支給事業 242件 他	委託料・扶助費 2,698,775円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

在宅ねたきり老人等介護用品支給事業等を実施し、在宅で高齢者を介護している人を支援しています。進捗度については、平成27年度までの当初目標を達成すると100%となるよう、年度ごとの達成割合を按分した20%に設定しています。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

在宅で高齢者を介護している人の経済的負担の軽減を図るとともに、要介護者の在宅生活の継続及び向上を図るための支援を行った。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

高齢者が年々増加しており、事業の対象者も増加することから、事業経費を考慮しながら実施していく必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も、在宅で高齢者を介護している人の負担軽減を図れるよう継続的に支援していく。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	高齢福祉課	係	高齢者係
担当者		今西 洋希	直通	0771-25-5032	内線	2776

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	4	解決策	3	具体的施策	3	枝番号	2
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	地域自立生活支援事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

- ・高齢者の生きがい創出と健康増進、介護予防事業の実施による自立した生活を実現させるために、委託事業と市内各町自治会に補助金交付を実施しています。
- ・委託事業：①高齢者囲碁セミナー事業（生きがい創出・介護予防）②マッサージサービス事業（健康増進・介護予防）③配食サービス事業（健康増進）④高齢者生きがい活動支援通所事業（生きがい創出・介護予防）
- ・補助金：亀岡市高齢者いきいき活動事業補助金

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・高齢者の生きがい創出 ・高齢者の健康増進 ・高齢者の自立した生活を実現する	高齢者の生きがい創出と社会参加促進、健康増進を図り、自立した生活の実現に貢献しました。	(生きがい活動通所等委託料)6,580,800円 (いきいき活動補助金)3,913,100円
平成24年度	・高齢者の生きがい創出 ・高齢者の健康増進 ・高齢者の自立した生活を実現する	平成23年度末から会員数は減少したが、就業率・就業延人数・受注件数等は増加	(生きがい活動通所等委託料)6,417,000円 (いきいき活動補助金)3,729,100円
平成25年度	・高齢者の生きがい創出 ・高齢者の健康増進 ・高齢者の自立した生活を実現する	高齢者の生きがい創出と社会参加促進、健康増進を図り、自立した生活の実現に貢献しました。	(生きがい活動通所等委託料)6,141,600円 (いきいき活動補助金)3,573,200円
平成26年度	・高齢者の生きがい創出 ・高齢者の健康増進 ・高齢者の自立した生活を実現する	高齢者の生きがい創出と社会参加促進、健康増進を図り、自立した生活の実現に貢献しました。	(生きがい活動通所等委託料)5,166,000円 (いきいき活動補助金)4,925,700円
平成27年度	・高齢者の生きがい創出 ・高齢者の健康増進 ・高齢者の自立した生活を実現する	高齢者の生きがい創出と社会参加促進、健康増進を図り、自立した生活の実現に貢献しました。	(生きがい活動通所等委託料)4,739,400円 (いきいき活動補助金)5,020,100円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

- ・いきいき活動事業補助金については、市内各自治会を対象に高齢者の社会参加や生きがいづくりを目的とした活動に寄与しました。
 - ・囲碁セミナー・マッサージサービス・通所事業の委託事業はそれぞれ利用者からの評価も高く、介護予防の観点から見ても、高齢者の自立した生活の実現に大きく寄与していると考えられます。
- 進捗度については、平成27年度までの当初目標を達成すると100%となるよう、年度ごとの達成割合を按分した20%に設定しています。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

委託、補助事業として、高齢者の社会参加や生きがいつくり、健康の保持等を目的に各種事業を実施することができた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

高齢者が年々増加しており、事業の対象者も増加することから、事業経費を考慮しながら実施していく必要がある。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も、高齢者の社会参加や生きがいつくり、健康の保持等につなげるため、継続的に各種事業の支援を行う。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	高齢福祉課	係	高齢者係
担当者		今西 洋希	直通	0771-25-5032	内線	2776

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	4	解決策	3	具体的施策	3	枝番号	3
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	災害時要配慮者支援事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

・災害発生時に配慮が必要な人を速やかに救出・援護することを目的とした、「ふれあいネットワーク」の名簿を作成する。 ・平成21年10月から、自宅における緊急時に救急隊が施す処置の手助けを目的に、利用者の病歴や緊急連絡先などの情報を記したシートを保管する「命のカプセル」を配布するとともに情報シートの更新を呼びかけています。 ・平成24年度から平成28年度にかけて、両事業ともに対象年齢を毎年一歳ずつ65歳から70歳まで引き上げます。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・新規対象者の登録等ふれあいネットワーク名簿の作成と整理	ふれあいネットワーク登録者 244人増加	(業務委託料) 187,400円
平成24年度	・登録者の追加・削除等ふれあいネットワーク名簿の整理 ・命のカプセル配布	平成23年度末から会員数は減少したが、就業率・就業延人数・受注件数等は増加	(業務委託料) 280,000円
平成25年度	・登録者の追加・削除等ふれあいネットワーク名簿の整理 ・命のカプセル配布	命のカプセル配布314本	(業務委託料) 280,000円
平成26年度	・登録者の追加・削除等ふれあいネットワーク名簿の整理 ・命のカプセル配布	命のカプセル配布458本	(業務委託料) 280,000円
平成27年度	・登録者の追加・削除等ふれあいネットワーク名簿の整理 ・命のカプセル配布	命のカプセル配布1,150本	(業務委託料) 280,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

平成24年度から平成28年度にかけて、事業対象者の年齢を引き上げていますが、必要がある方については登録しています。平成27年度においては、カプセルを1,150人に配布しています。今後もカプセルの登録・配布を進めていく必要があります。進捗度については、平成27年度までの当初目標を達成すると100%となるよう、年度ごとの達成割合を按分した20%に設定しています。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

利用者の病歴や緊急連絡先などの情報を記したシートを保管する「命のカプセル」を配布し、自宅における緊急時に、かけつけた救急隊に利用いただいた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

高齢者が年々増加し、「命のカプセル」の配布対象者も増加しているため、配布いただいている民生委員児童委員に負担がかかってくる。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も、「命のカプセル」の配布や情報シートの更新を働きかけ、自宅における緊急時の際に役立てていく。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	高齢福祉課	係	
担当者		永田順子	直通	25-5127	内線	2778

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	4	解決策	4	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	認知症啓発事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

地域で暮らす認知症高齢者が増えることが予期されるため、認知症の人とその家族が安心・安全に暮らせるまちづくりを目指し、認知症について正しく理解している市民を増やし、認知症への偏見をなくことを目的とした、市民へ啓発活動として認知症サポーターの養成講座や市民公開講座を開催します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度		■認知症サポーター（人数23人）	認知症啓発事業費 （120,000円）
平成24年度	■認知症サポーター（人数100人）	平成23年度末から会員数は減少したが、就業率・就業延人数・受注件数等は増加	認知症啓発事業費 （120,000円）
平成25年度	■認知症サポーター（人数200人） ■市民公開講座（人数300人）	■認知症サポーター（人数598人） ■市民公開講座（人数117人）	認知症啓発事業費 （443,101円）
平成26年度	■認知症サポーター（人数400人） ■市民公開講座（人数300人）	■認知症サポーター（548人） ■市民公開講座（382人）	認知症啓発事業費 （687,112円）
平成27年度	■認知症サポーター（人数400人） ■市民公開講座（人数300人）	■認知症サポーター（529人） ■市民公開講座（210人）	認知症啓発事業費 （177,543円）

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

目標年度までの認知症サポーター数1,100人に対し、平成26年度以前のサポーター数は1,803人で、目標達成率は163%です。また、目標年度までの市民公開講座参加人数900人に対し、平成27年度までの参加人数839人で、目標達成率は93%です。以上のことから、認知症啓発事業の進捗状況は、2つの実績の目標値から平均をとり128%とします。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

認知症サポーターについては、平成23年度の低位から伸び続け、最終的に目標の163%を達成した。また市民公開講座についても目標の93%と100%には至っていないが、十分な啓発が行えたと考えている。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

認知症サポーターとなっただいた市民が実際に活動してもらうための場、知識を高める場などが持てなかったため、今後検討が必要であるとする。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

基本的には今後も知識の普及啓発は継続していくこととする。
また、必要性を検討し更に知識を高める場の創り出しなどについても、研究していくこととする。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	高齢福祉課	係	
担当者		永田順子	直通	25-5127	内線	2778

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	4	解決策	4	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	認知症家族支援事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

在宅で認知症高齢者の介護をする家族の心身の負担軽減に努め、認知症の人とその家族が安定した在宅生活を営めるようにすることを目的とし、介護家族支援事業（リフレッシュ事業・家族交流会「ほっこりさん」・学習交流会「家族支援プログラム」）を開催しています。										
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

か

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	介護家族者支援事業（リフレッシュ事業・ほっこりさん・家族支援プログラム）利用者の延人数150人	介護家族者支援事業（リフレッシュ事業・ほっこりさん・家族支援プログラム）利用者の延人数126人	家族介護支援事業費（249,000円）
平成24年度		平成23年度末から会員数は減少したが、就業率・就業延人数・受注件数等は増加	家族介護支援事業費（270,000円）
平成25年度		介護家族者支援事業（リフレッシュ事業・ほっこりさん・家族支援プログラム）利用者延人数116人	家族支援事業経費（171,045円）
平成26年度		介護家族者支援事業（リフレッシュ事業・ほっこりさん・家族支援プログラム）利用者延人数90人	家族支援事業費（268,000円）
平成27年度		介護家族者支援事業（リフレッシュ事業・ほっこりさん・家族のための認知症講座）利用者延人数126人	家族支援事業費（311,570円）

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

目標年度の利用延べ人数は126人であり、利用目標人数150人に対する達成率は84%であることから目標進捗状況を84%としました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

期間中の利用延べ人数は569人であり、多年度平均では113.8人の延べ利用であった。目標を設定した平成24年度から利用延べ人数は150人で固定しており、これに対し、利用率は最終年度でようやく8割を超えてきた。数値的には、平成23年度の延べ利用人数に並ぶものであるが、実際の利用状況から、この利用延べ人数は妥当なものであり、延べ利用者数の目標設定が妥当でなかった可能性があると考えている。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

期間内の数値に大きな変動があるが、対象者の状況変動などで利用が増減する事業の性格上一定数を保つことは難しいと考えている。但し、どちらかというところでは、クロージングな場でもあることから、もう少し出入りや参加が安易になる方法について検討することにより、参加者の増加を促す手段について検討が必要と思われる。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

参加者より、基本的に現在の形が参加しやすいとの声もあることから、大幅な変更は考えていない。但し今後、市内における認知症者とその家族への認知が広がることにより、利用者が増加することが予想されるため、②に示した参加が安易になる方法について検討を行うなど、認知症者とその家族が安心して住み慣れた地域で生活しやすい環境整備を進めるための事業展開を行うこととします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	高齢福祉課	係	高齢者係
担当者		明石 将人	直通	0771-25-5032	内線	2776

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	4	解決策	4	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	高齢者虐待防止ネットワーク会議									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

各関係機関・団体等が連携協力して、高齢者虐待の防止や早期発見、虐待を受けた高齢者や高齢者を養護、介護する家族、親族、同居人などに適切な支援を行えるよう、平成18年度から高齢者虐待防止ネットワーク会議を設立し運営しています。

高齢者が住み慣れた地域で尊厳のある生活の確保できるように、各機関・団体から推薦された委員や関係者が、高齢者虐待の予防や早期発見のための情報交換などを行っています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	- 年1回以上の開催 - 年度実績の報告 - 必要に応じて委員の推薦依頼を行う	- 平成24年3月1日開催 - 年度実績の報告 - 関係機関に委員の推薦依頼を行った	(出席者報償金) 53,350円
平成24年度	- 年1回以上の開催 - 年度実績の報告 - 高齢者虐待防止に係る研修会の協力連携 - 必要に応じて委員の推薦依頼を行う	平成23年度末から会員数は減少したが、就業率・就業延人数・受注件数等は増加	(出席者報償金) 0円
平成25年度	- 年1回以上の開催 - 年度実績の報告 - 高齢者虐待防止に係る研修会の協力連携 - 高齢者虐待防止マニュアルの見直し - 必要に応じて委員の推薦依頼を行う	- 平成25年5月29日、平成26年3月25日開催 - 高齢者虐待防止マニュアル改訂検討委員会開催（2月6日、13日、19日） - 権利擁護に係る研修会の開催協力（9月14日） - 関係機関に委員の推薦依頼を行った - 高齢者虐待防止マニュアルの改訂	(出席者報償金) 155,200円
平成26年度	- 年1回以上の開催 - 年度実績の報告 - 高齢者虐待防止に係る研修会の協力連携 - 必要に応じて委員の推薦依頼を行う	- 平成27年1月16日開催 - 虐待対応の状況報告及び委員研修 - 委員改選のため関係機関に委員の推薦依頼を行った	(出席者報償金) 48,500円
平成27年度	- 年1回以上の開催 - 高齢者虐待防止に係る研修会の協力連携 - 年度実績の報告 - 必要に応じて委員の推薦依頼を行う	- 平成28年2月26日開催 - 虐待対応の状況報告及び委員研修	(出席者報償金) 43,650円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

当該会議は毎年度継続して開催するため、進捗度については、平成27年度までの当初目標を達成すると100%となるよう、年度ごとの達成割合を按分した20%に設定しています。

平成27年度は亀岡市の虐待対応の状況報告及び委員研修を実施しました。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

各関係機関・団体等と亀岡市における高齢者虐待について協議を行い、高齢者虐待の予防や早期発見のための情報を共有した。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

高齢者の増加とともに、高齢者逆地の通報件数も増加していることから、情報の共有をもとに、予防や早期発見をますます促進しなければならない。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

市内の高齢者虐待を減らすために、今後も継続的に会議を開催していきます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	障害福祉課	係	障害総務係
担当者		川勝	直通	0771-25-5031	内線	2752

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	5	解決策	1	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	亀岡市障害者福祉都市推進事業に係る障害者啓発事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

障害のある人に対する理解や人権意識を高める啓発活動を推進することを目的に、ふくし読本「だれもが生きるよこびを」を教育委員会の協力により発刊。3年を目途に更新しています。
同冊子は市内小学校4～6年生の児童を対象に、授業の中で副読本として活用しています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・市内小学校4～6年生の児童を対象に、平成21年度から23年度の授業の中で、副読本として活用し啓発を推進する。	・市内小学校4～6年生の児童を対象に、平成21年度から23年度の授業の中で、副読本として活用。	0円
平成24年度	・市内小学校4～6年生の児童を対象の副読本として、3,400部を発刊し活用するとともに、活用状況を把握する。	教育委員会監修により「ふくし読本」を更新し配布。各学校へのアンケートを実施し、活用状況を把握した。	決算額 467,250円 (予算内訳) 府補助金 233,000円 単費 234,250円
平成25年度	・活用状況を把握し、更新時に反映するとともに活用機会を増やすことで啓発を推進する。	・市内小学校4～6年生の児童を対象に、平成24年度から26年度の授業の中で、副読本として活用。	0円
平成26年度	・活用状況を把握し、更新時に反映するとともに活用機会を増やすことで啓発を推進する。	・市内小学校4～6年生の児童を対象に、平成24年度から26年度の授業の中で、副読本として活用。	0円
平成27年度	・市内小学校4～6年生の児童を対象の副読本として、3,400部を発刊し活用するとともに、活用状況を把握する。	・市内小学校4～6年生用の備品教材として配布。今年度以降の福祉教育において副教材として使用します。	決算額 374,976円 (予算内訳) 府補助金 171,000円 単費 203,976円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成23～27年度までの5ヶ年で100%の達成率とし、各年度1/5、20%の達成率で、平成27年度は5ヶ年100%の達成率とする。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

小学校における福祉教育において、障害のある人に対する理解を深め、人権意識を高める効果がありました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

福祉教育の現場においては、有用で教育委員会からも評価が高かったのですが、児童への配布教材としていたため、定期的な発行を続ける必要がありました。

現在は、学校備品として児童へ貸し出すというしくみに変更したため、定期的な印刷は不要となりました。

今後の課題は、「ふくし読本」に代わる福祉教育物品をどのように企画作製するかであると考えます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

「ふくし読本」については、平成27年度から児童への配布ではなく、学校備品として児童へ貸し出すというしくみに変更したため、定期的な印刷は不要となりました。

つきましては、長年定期的に発行してきた「ふくし読本」については、一定の区切りとなるため、福祉教育において小学校以外の年齢層に目を向けた啓発冊子の作製へと振替えることとします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	障害福祉課	係	障害総務係
担当者	川勝	直通	0771-25-5031	内線	2752	

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	5	解決策	1	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	亀岡市障害者福祉都市推進事業に係る障害者啓発事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

障害の有無に関わらず地域住民・事業者とのふれあい・交流の場を充実させることを目的に、毎年下記の事業を亀岡市身体障害者福祉協会に委託し開催します。

①市民啓発事業

障害者週間を中心とする市民啓発事業やふれあいフェスティバル(亀岡市障害者福祉大会)事業

②障害者生活文化展

ふれあいフェスティバル事業の一環として実施する障害者生活文化展の業務

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費(円単位)
平成23年度	・「亀岡市障害者福祉大会」及び「障害者生活文化展」参加者数(6,000人)	・「亀岡市障害者福祉大会」及び「障害者生活文化展」参加者数(6,000人)	1,064,000円
平成24年度	・「亀岡市障害者福祉大会」及び「障害者生活文化展」参加者数(6,500人)	・「亀岡市障害者福祉大会」及び「障害者生活文化展」参加者数(6,500人)	1,064,000円
平成25年度	・「亀岡市障害者福祉大会」及び「障害者生活文化展」参加者数(7,000人)	・「亀岡市障害者福祉大会」及び「障害者生活文化展」参加者数(5,000人)	1,064,000円
平成26年度	・「亀岡市障害者福祉大会」及び「障害者生活文化展」参加者数(7,500人)	・「亀岡市障害者福祉大会」及び「障害者生活文化展」参加者数(4,000人)	1,064,000円
平成27年度	・「亀岡市障害者福祉大会」及び「障害者生活文化展」参加者数(8,000人)	・「亀岡市障害者福祉大会」及び「障害者生活文化展」参加者数(4,000人)	1,064,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

(その根拠)

・平成27年度末までの目標参加総人数(35,000人)を100%として、実績の25,500人の占める割合を進捗度(72.9%)とした。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

障害の有無に関わらず地域住民・事業者とのふれあい・交流の場の充実に寄与した。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

平成24年度以降、来場者数の減少が見られるが、気象により来場者が左右されるという要素の他に事業全体のマンネリ化が影響している側面もあるように案じる。

会場規模や予算の制約があり、ある程度類似したコンテンツしか提供できないという側面もあり、変更余地も限られているが、集客できる出し物を考えていく必要があると考えます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

障害の有無に関わらない地域住民・事業者とのふれあい・交流の場を提供できる機会は多くないため、当事業は非常に重要です。

つきましては、出し物の内容については、業務委託発注先に変化を持たせるように協議するとともに、規模においては現状程度の維持を図ります。

なお、出し物の変更は試行錯誤が伴い、集客の増減幅が大きくなることも想定できますので、中期的に集客数の上下に拘らない模索を行うこととし、後期は「ふれあいフェスティバル」の集客人数を、そのままの数字で評価指標として用いることは避けることとします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	障害福祉課	係	地域生活支援係
担当者	青山	直通	25-5189	内線	2755	

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	5	解決策	1	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	手話・要約筆記講座の開催									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

・「聞こえ」に障害のある人に対する理解や人権意識を高め、相互理解・尊重の意識啓発を進めるために、また、市民と障害者相互のコミュニケーションを支援するため、手話講座や要約筆記講座を開催します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・市民の相互コミュニケーション支援としての、手話講座、要約筆記講座の開催	・手話講座 101講座 延べ1,222人受講 ・要約筆記講座 40講座 延べ320人受講	574,700円
平成24年度	・市民の相互コミュニケーション支援としての、手話講座、要約筆記講座の開催 ・手話講座 延べ参加者数 1300人 ・要約筆記講座 延べ参加者数 400人	・手話講座 115講座 延べ1,170人受講 ・要約筆記講座 40講座 延べ243人受講	701,663円
平成25年度	・市民の相互コミュニケーション支援としての、手話講座、要約筆記講座の開催 ・手話講座 延べ参加者数 1300人 ・要約筆記講座 延べ参加者数 400人	・手話講座 118講座 延べ1,418人受講 ・要約筆記講座 32講座 延べ233人受講	611,571円
平成26年度	・市民の相互コミュニケーション支援としての、手話講座、要約筆記講座の開催 ・手話講座 延べ参加者数 1300人 ・要約筆記講座 延べ参加者数 400人	・手話講座 133講座 延べ1,623人受講 ・要約筆記講座 35講座 延べ241人受講	632,761円
平成27年度	・市民の相互コミュニケーション支援としての、手話講座、要約筆記講座の開催 ・手話講座 延べ参加者数 1300人 ・要約筆記講座 延べ参加者数 400人	・手話講座 127講座 延べ1,215人受講 ・要約筆記講座 30講座 延べ238人受講	686,530円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

- ・平成24年度の述べ参加者数を基本数値として設定、維持から充実を目指す。
- ・各年度20%として、27年度末で100%とした。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

手話や要約筆記に対する関心が高まり、年々受講者が増えている。
講座受講後に、サークル活動や、研修にも積極的に参加し、意思疎通支援者として活躍される方も増えた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

要約筆記者が試験制度となり、受講希望者が減り、開講できない年もあった。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

府の通訳者養成課程にスムーズに移行できるように、講義内容や講師養成にも力を入れる。
受講者を増やすため、啓発にも力を入れる。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	障害福祉課	係	地域生活支援係
担当者		柴田	直通	0771-25-5189	内線	2756

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	5	解決策	2	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	児童発達支援事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

・就学前児童に対し、関係機関との連携の中、発達に不安のある子どもの成長を支援するため、療育相談や療育の場を提供します。
--

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度			
平成24年度	・幼児発達支援としての療育提供と場の確保	平成24年7月、療育教室「フレンズ」開設 17組の親子に療育提供を実施	6,939,588円
平成25年度	・幼児発達支援としての療育提供と場の確保	26組の親子に療育提供を実施	6,939,932円
平成26年度	・幼児発達支援としての療育提供と場の確保	25組の親子に療育提供を実施	7,061,000円
平成27年度	・幼児発達支援としての療育提供と場の確保	26組の親子に療育提供を実施 年長児は市教委担当となる。	7,022,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

・24年度新規事業であり、24年7月3日から療育教室「フレンズ」を開設。 現在、亀岡市保健センターや花ノ木医療福祉センター等からの紹介を受け、必要な時にサービスを提供できる受け入れ態勢が整ったことにより90%実績とし、27年度100%とした。
--

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

平成27年度から、実施場所が亀岡市立幼稚園に移転し、教育委員会や幼稚園等と連携しやすくなりました。
実施4年目となり、健康増進課や花ノ木医療福祉センター等とも利用者の案内ルートが定着し、安定した利用につながっています。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

健康増進課や花ノ木医療福祉センターからの紹介人数が年々増加し続けていることにより、次期利用者についても相談を前倒ししながら工夫してつないでいるいるところですが、待機者が出てきています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

平成28年5月から、市内の児童発達支援事業所が1か所から2か所に増える中で、医学的にも児童発達が必要と判断された障害児と医学的判断以前の要支援児へ対応も含め、障害児支援体制を亀岡市全体の課題として整えていく必要があると考えます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	障害福祉課	係	障害者給付係
担当者		吉田	直通	25-5189	内線	2755

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	5	解決策	2	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	障害者自立支援給付事業（居宅介護サービス等）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

障害のある人が住みなれた地域で安心して生活できるよう、居宅において入浴、排泄、食事等の介護、調理、洗濯、掃除等の家事等の支援を行うとともに、外出時においても同行して移動の支援等を行う。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護において、生活全般にわたる介護の提供と充実を図る。（利用者数79人）	・居宅介護 ・重度訪問介護 ・行動援護 ・同行援護（利用者数140人）	扶助費123,596,010円
平成24年度	居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護において、生活全般にわたる介護の提供と充実を図る。（利用者数125人）	・居宅介護 ・重度訪問介護 ・行動援護 ・同行援護（利用者数145人）	扶助費131,026,217円
平成25年度	居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護において、生活全般にわたる介護の提供と充実を図る。（利用者数143人）	・居宅介護 ・重度訪問介護 ・行動援護 ・同行援護（利用者数151人）	扶助費153,792,697円
平成26年度	居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護において、生活全般にわたる介護の提供と充実を図る。（利用者数164人）	・居宅介護 ・重度訪問介護 ・行動援護 ・同行援護（利用者数161人）	扶助費176,895,802円
平成27年度	居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護において、生活全般にわたる介護の提供と充実を図る。（利用者数187人）	・居宅介護 ・重度訪問介護 ・行動援護 ・同行援護（利用者数164人）	扶助費188,736,020円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

亀岡市第3期障害福祉計画に基づき、平成27年度までの延べ利用人数を100%として、平成27年度末時点をもとに109%とした。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

障害があっても、地域で生活できるように一定の効果が得られた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

効果が上がるとともに、扶助費が増加するため適正なサービス提供に努めることが課題である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

必要なサービスについて、今後も適正に提供を行う。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	障害福祉課	係	地域生活支援係
担当者		柴田	直通	25-5189	内線	2756

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	5	解決策	2	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	地域生活支援事業（日中一時支援事業）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

・障害のある人が、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう一時的に利用できる日中の居場所を提供します。
--

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・日中一時支援事業の実施	（・年間延べ利用件数1,097件）	（扶助費57,206,782円）
平成24年度	・日中一時支援事業の実施 ・実利用者数 39人（亀岡市第3期障害福祉計画の見込数）が一時的に利用できる居場所の提供	（・年間延べ利用件数 482件）	扶助費23,772,372円
平成25年度	・日中一時支援事業の実施 ・実利用者数 47人（亀岡市第3期障害福祉計画の見込数）が一時的に利用できる居場所の提供	（・年間延べ利用件数 525件 実利用56人）	扶助費20,770,868円
平成26年度	・日中一時支援事業の実施 ・実利用者数 56人（亀岡市第3期障害福祉計画の見込数）が一時的に利用できる居場所の提供	（・年間延べ利用件数 534件 実利用74人）	扶助費30,291,431円
平成27年度	・日中一時支援事業の実施 ・実利用者数 67人（亀岡市第3期障害福祉計画の見込数から伸び率120%で算出）が一時的に利用できる居場所の提供	（・年間延べ利用件数 763件 実利用81人）	扶助費35,112,410円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

・各年度20%として、27年度で100%とした。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

ひきこもりの人が、外出の練習として本事業の場に出てこれたり、家では一人で過ごせない人が地域で安心して過ごすことが出来る場として社会参加の促進につながっており、利用のニーズは高まっています。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

障害者の親が高齢となり、介護力の低下によって障害者と自宅で過ごすことが困難になっているケースの増加により本事業の利用が増えています。
親の就労の間の見守りを、インフォーマルを含めた他の資源の利用検討がされないまま、利用者負担を設定していない本事業を権利として上限いっぱい利用しようとする市民感覚が高まる中で、利用者は増える一方にあります。必要な人に必要な支援として継続していける検討が必要と考えます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

障害程度等によっては、本事業の利用だけではなく、国サービスを優先し組み合わせながら利用されるケースもすくなくはありません。障害者自身の豊かな生活の実現に向けて、相談支援事業の利用を勧め、バランスを考えながら支援します。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	障害福祉課	係	障害者給付係
担当者		吉田	直通	25-5189	内線	2755

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	5	解決策	2	具体的施策	4	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	16
②事業名	障害者自立支援給付事業（グループホーム等）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

障害者が地域で安心して、自立した生活ができる場所づくりのため、夜間や休日に共同生活を行う住居で、入浴、排泄、食事等の介護及び相談や日常生活上の援助を行う。
--

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	グループホーム、ケアホーム 設置数 16 箇所	グループホーム、ケアホーム 設置数 15 箇所	0
平成24年度	グループホーム、ケアホーム 設置数 17 箇所	グループホーム、ケアホーム 設置数 16 箇所	0
平成25年度	グループホーム、ケアホーム 設置数 18 箇所	グループホーム、ケアホーム 設置数 16 箇所	0
平成26年度	グループホーム、ケアホーム 設置数 19 箇所	グループホーム、ケアホーム 設置数 16 箇所	0
平成27年度	グループホーム、ケアホーム 設置数 20 箇所	グループホーム、ケアホーム 設置数 17 箇所	0

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度1箇所ずつ設置される予定で目標を設定。27年度を100%目標として、27年度では17箇所設置されているので85%とした。
--

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

地域で安心して暮らせるよう限られた施設数ではあるが、一定の効果は得られた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

事業所のグループホーム設置について思うように数が増えないなか、待機者の解消をどのように図るかが課題である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

グループホーム設置について、補助制度もないため、当面、事業所の動向を見ていきたい。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	障害福祉課	係	障害者給付係
担当者		吉田	直通	25-5189	内線	2755

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	5	解決策	2	具体的施策	5	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	障害者自立支援給付事業（就労移行支援）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

職業安定所や障害者就業・生活相談支援センターなどの機関と連携し、雇用を確保するとともに、一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識、能力の向上のために必要な訓練を行う。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	就労を希望する人に対して、就労に必要な知識・能力の向上を図るための、就労訓練機会の提供と充実を図る。（利用者数18人）	・就労移行支援 20人	32,944,563円
平成24年度	就労を希望する人に対して、就労に必要な知識・能力の向上を図るための、就労訓練機会の提供と充実を図る。（利用者数20人）	・就労移行支援 17人	26,678,782円
平成25年度	就労を希望する人に対して、就労に必要な知識・能力の向上を図るための、就労訓練機会の提供と充実を図る。（利用者数22人）	・就労移行支援 21人	25,046,855円
平成26年度	就労を希望する人に対して、就労に必要な知識・能力の向上を図るための、就労訓練機会の提供と充実を図る。（利用者数24人）	・就労移行支援 26人	37,833,653円
平成27年度	就労を希望する人に対して、就労に必要な知識・能力の向上を図るための、就労訓練機会の提供と充実を図る。（利用者数26人）	・就労移行支援 38人	45,101,626円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

亀岡市第3期障害福祉計画に基づき、平成27年度までの延べ利用人数を100%として、平成27年度末時点を110%とした。（ただし、各年度の希望者に対するサービス提供は、100%実施）
--

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

一般就労へつなげることにより、障害者の安心した暮らしの実現のために一定の効果が得られた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

福祉就労から一般就労へ移行後の職場定着について就労移行支援事業所の役割が重要である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

障害者の特性に応じた支援を行い雇用定着することにより、障害者の社会参加、自立の促進につながるためニーズに応じ、実施します。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	障害福祉課	係	障害総務係
担当者	川勝	直通	0771-25-5031	内線	2752	

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	5	解決策	2	具体的施策	6	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	亀岡市障害者就労支援促進事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

障害者雇用に関する啓発を進め、障害者就労支援施設への仕事の確保を支援することを目的に、市内5箇所の障害者就労支援施設が組織した亀岡市障害者就労支援共同センターに、市の障害者就労開拓支援事業と障害者就労支援委託事業を業務委託しています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・障害者就労支援委託事業に係る受託事業数 6件	・障害者就労支援委託事業に係る受託事業数 6件	2,978,150円
平成24年度	・障害者就労支援委託事業に係る受託事業数 7件	・障害者就労支援委託事業に係る受託事業数 7件	2,997,950円
平成25年度	・障害者就労支援委託事業に係る受託事業数 8件	・障害者就労支援委託事業に係る受託事業数 8件	2,995,980円
平成26年度	・障害者就労支援委託事業に係る受託事業数 9件	・障害者就労支援委託事業に係る受託事業数 6（7）件	2,982,700円
平成27年度	・障害者就労支援委託事業に係る受託事業数 10件	・障害者就労支援委託事業に係る受託事業数 6（7）件	2,948,639円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

・平成27年度までの目標総件数40件に対して、発注実績総件数の占める割合（%）を表記することを原則とするが、前期と後期で各1件とし通算2件と評価している契約が一部存在するため、その数については1件であっても2件として換算し、平成27年度末時点を計算した。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

「亀岡市障害者就労支援共同センター」に対して、直接の雇用機会の提供及び受注側のやりがいやスキルアップに貢献することができ、センターの組織育成に大きな成果がありました。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

「亀岡市障害者就労支援共同センター」を1つの事業所として育成し、障害者就労施設枠だけでなく一般的な事業者との競争に耐える組織にする必要があると感じます。
そのため、今後も仕事確保及び組織育成のために事業を維持継続します。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

当事業より大枠で進める「亀岡市障害者就労施設等からの物品等の調達推進」事業と併せて、更なる啓発と組織の育成に努めます。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	障害福祉課	係	地域生活支援係
担当者		片山	直通	25-5189	内線	2755

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	5	解決策	3	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	地域生活支援事業（相談支援体制の充実）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

・障害の種別に関係なく、難病、発達障害、高次脳障害など支援を必要とするすべての人が安心して相談のできる体制を確保するために、相談支援事業所との連携と、相談窓口の体制充実を図っています。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・相談支援事業所の確保と相談窓口の体制充実 委託先 2ヶ所 亀岡市障害者相談支援センター「お結び」、花ノ木医療福祉センター相談事業	・花ノ木医療福祉センター 実89人、延べ665件 ・亀岡福祉会 実273人、延べ3,125件	15,815,000円
平成24年度	・相談支援事業所の確保と相談窓口の体制充実 委託先 2ヶ所 亀岡市障害者相談支援センター「お結び」、花ノ木医療福祉センター相談事業	・花ノ木医療福祉センター 実102人、延べ744件 ・亀岡福祉会 実326人、延べ3,361件	15,815,000円
平成25年度	・相談支援事業所の確保と相談窓口の体制充実 委託先 2ヶ所 亀岡市障害者相談支援センター「お結び」、花ノ木医療福祉センター相談事業	・花ノ木医療福祉センター 実58人、延べ257件 ・亀岡福祉会 実302人、延べ2,017件	15,815,000円
平成26年度	・相談支援事業所の確保と相談窓口の体制充実 委託先 2ヶ所 亀岡市障害者相談支援センター「お結び」、花ノ木医療福祉センター相談事業	・花ノ木医療福祉センター 実60人、延べ138件 ・亀岡福祉会 実350人、延べ2,585件	15,815,000円
平成27年度	・相談支援事業所の確保と相談窓口の体制充実 委託先 2ヶ所 亀岡市障害者相談支援センター「お結び」、花ノ木医療福祉センター相談事業	・花ノ木医療福祉センター 実43人、延べ126件 ・亀岡福祉会 実291人、延べ1186件	15,815,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

・各年度20%として、27年度末で100%とした。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

障害者相談支援事業所に委託する中で、障害の種別（難病、発達障害、高次脳障害など）に関係なく支援を必要とする全ての人が、365日24時間相談できる体制を確保することができた。
委託事業所が中心となり、他の障害者相談支援事業所間の連携を図る他、定例の相談支援部会を開催したり、障害福祉課窓口とも協力体制の充実を図りながら、個人や地域の課題解決に向けて活動できた。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

支援を必要とする人への対応は年々複雑化、多種化しているため支援技術の向上が望まれている。
合わせて、障害者福祉施設における人材確保は大きな課題であり、相談支援従事者においては、そのスキルを備えた人材確保や定着は更に困難である。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も、継続して障害者生活相談事業を実施し、市民福祉の向上を図る。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	障害福祉課	係	地域生活支援係
担当者	青山	直通	25-5189	内線	2755	

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	5	解決策	3	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	地域生活支援事業（コミュニケーション支援事業）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

・「聞こえ」に障害のある人に必要な情報が伝わるよう、コミュニケーション支援として手話通訳者と要約筆記者を派遣します。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・派遣対応できる要約筆記者、手話通訳者の確保	・手話通訳士資格者を正職員として採用した。 ・年度末 登録手話通訳者 15名、要約筆記者 30名	0円
平成24年度	・派遣対応できる人材を確保する。 ・要約筆記者の確保 35名 ・手話通訳者の確保 15名	・年度末 登録手話通訳者 16名、要約筆記者 20名	0円
平成25年度	・派遣対応できる人材を確保する。 ・要約筆記者の確保 40名 ・手話通訳者の確保 16名	・年度末 登録手話通訳者 17名、要約筆記者 23名	0円
平成26年度	・派遣対応できる人材を確保する。 ・要約筆記者の確保 45名 ・手話通訳者の確保 17名	・年度末 登録手話通訳者 17名、要約筆記者 21名	0円
平成27年度	・派遣対応できる人材を確保する。 ・要約筆記者の確保 45名 ・手話通訳者の確保 18名	・年度末 登録手話通訳者 22名、要約筆記者 21名	0円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

・各年度20%として、27年度末で100%とした。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

平成23年に市役所に通訳者が配置され、曜日に関係なく手話通訳依頼や相談ができるようになった。平成24年度に職場携帯が2台導入され、依頼はメールが中心になる。派遣・コーディネートもメール使用で、負担が軽くなった。またそれまで、私物の携帯電話でのやり取りをしていたので、公私の区別がつきにくい状態は解消された。
登録手話通訳者の人数は、年々増えている。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

対象者の高齢化により、医療健康、介護保険など生活にかかわる分野の通訳依頼、及び相談支援の件数が多くをしめてきた。
意思疎通支援者の健康管理にも目を配っていく。
手話通訳はコミュニケーションだけでなく生活全般にかかわる支援を含めた通訳が今後ますます必要となっている。
盲ろう者の為の触手話通訳が占める割合が高くなっていく。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後も引き続き、きめ細かい意思疎通支援者派遣を実施します。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	障害福祉課	係	地域生活支援係
担当者		柴田	直通	25-5189	内線	2756

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	5	解決策	3	具体的施策	3	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	地域生活支援事業（権利擁護事業の普及・推進）									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

・相談支援事業所等との連携を強化し、社会生活を営む上での必要な情報の提供や、成年後見制度等の権利擁護事業を推進します。
--

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・判断能力が充分でない障害者への個別相談支援を強めることにより、福祉サービス、権利擁護事業等の利用を促進	・権利擁護事業利用者 14人 ・成年後見支援制度支援者0人	0円
平成24年度	・判断能力が充分でない障害者への個別相談支援を強めることにより、福祉サービス、権利擁護事業等の利用を促進	・権利擁護事業利用者 14人 ・成年後見支援制度支援者0人	0円
平成25年度	・判断能力が充分でない障害者への個別相談支援を強めることにより、福祉サービス、権利擁護事業等の利用を促進	・権利擁護事業利用者 13人 ・成年後見支援制度支援者1人	300,000円
平成26年度	・判断能力が充分でない障害者への個別相談支援を強めることにより、福祉サービス、権利擁護事業等の利用を促進	・権利擁護事業利用者 14人 ・成年後見支援制度支援者1人	302,950円
平成27年度	・判断能力が充分でない障害者への個別相談支援を強めることにより、福祉サービス、権利擁護事業等の利用を促進	・権利擁護事業利用者 46人 ・成年後見支援制度支援者3人	445,609円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

・各年度20%として、27年度末で100%とした。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

権利擁護事業利用者は、前年度に比べ急増している。
成年後見制度利用者も増加しており、各事業を必要としている人が制度利用につながってきていると思われま

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

成年後見制度は、助成費用は家庭裁判所の決定に基づくため、あらかじめ予算が見積もりづらい反面、1件の負担額が大きい。また、助成期間が年度をまたがる事も多く、件数が増加するに伴い計画的な事業の実施は難しいものとなっています。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

本事業を必要とする障害者が適正に利用できるよう、相談支援者が制度を正しく理解した上で対応していきたいと思います。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	障害福祉課	係	障害総務係
担当者		川勝	直通	0771-25-5031	内線	2752

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	5	解決策	4	具体的施策	1	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	ふれあいネットワーク制度事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

災害発生時において、障害者などの要配慮者を地域の協力体制のなかで速やかに救出・救護することを目的とした制度です。

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・新規障害者手帳配布時に窓口で制度を説明。希望者に用紙を配布し登録を進めていく。 ※名簿は社会福祉課にて管理	・新規障害者手帳配布時に窓口で制度を説明し、希望者の登録を進めた。（現在登録者数780人）	30,000円
平成24年度	・新規障害者手帳配布時に窓口で制度を説明する等希望者に用紙を配布し登録を進めていく。 ※名簿は地域福祉課にて管理	手帳配布時に制度を説明し、希望者の登録を進めた。（現在登録者数725人）※過去に障害者手帳を交付された者に対しても、あらためて啓発を行うことを決定。	30,000円
平成25年度	・新規障害者手帳配布時に窓口で制度を説明する等希望者に用紙を配布し登録を進めていく。 ※名簿は地域福祉課にて管理	手帳配布時に制度を説明し、希望者の登録を進めた。（現在登録者数757人）※過去に障害者手帳を交付された者に対しても、あらためて啓発を行うことを決定。	30,000円
平成26年度	・新規障害者手帳配布時に窓口で制度を説明する等希望者に用紙を配布し登録を進めていく。 ※名簿は地域福祉課にて管理	手帳配布時に制度を説明し、希望者の登録を進めた。（現在登録者数785人）※過去に障害者手帳を交付された者に対しても、あらためて啓発を行うことを決定。	30,000円
平成27年度	・新規障害者手帳配布時に窓口で制度を説明する等希望者に用紙を配布し登録を進めていく。 ※名簿は地域福祉課にて管理	手帳配布時に制度を説明し、希望者の登録を進めた。（現在登録者数795人）※過去に障害者手帳を交付された者に対しても、あらためて啓発を行うことを決定。	30,000円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

各年度20%の進捗率とし、平成27年度末で100%とした。

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

期中に、災害対策法の改正があり、災害等での個人情報の利用が本人同意なしで行えるようになりましたので、制度としては重要性が薄くなっています。
そのため、事業としては効果的でしたが、本人同意不要で作成できる「要支援者名簿」と成果が重複しています。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

上記理由により、当該事業自体に課題はありませんでしたが、法令改正に伴い、今後は「亀岡市避難行動要支援者名簿」制度を主軸とした事業の推進を行います。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

「亀岡市避難行動要支援者名簿」制度を主軸とし、成果指標にも用いることとします。

様式1 【平成28年度】第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～進行管理調書

主管部課係	部等	健康福祉部	課	障害福祉課	係	障害総務係
担当者		川勝	直通	0771-25-5031	内線	2752

■A 進捗管理欄■

①整理番号	章	3	節	5	解決策	4	具体的施策	2	枝番号	1
	「目指す目標」に該当する事業								番号	
②事業名	京都おもいやり駐車場利用証制度事業									
③継続・新規	平成27年度実施事業									

④事業の概要及び目的

障害者にやさしい駐車スペースの確保など、移動を支援する仕組みを進めることを目的に、京都府の「京都おもいやり駐車場利用証制度」に協力しています。
--

⑤当初目標・実績

	当初目標	実績	事業費（円単位）
平成23年度	・市の公共施設の車いすマーク駐車場等を協力駐車場として登録するための報告や窓口等における制度説明、案内。（亀岡市内 施設数34 区画数68）	・市の公共施設の車いすマーク駐車場等を協力駐車場として登録するための報告や窓口等における制度説明、案内。（亀岡市内 施設数34 区画数68）	0円
平成24年度	・市の公共施設の車いすマーク駐車場等を協力駐車場として登録するための報告や窓口等における制度説明、案内。（亀岡市内 施設数37 区画数71）	・市の公共施設の車いすマーク駐車場等を協力駐車場として登録するための報告や窓口等における制度説明、案内。（亀岡市内 施設数37 区画数75）	0円
平成25年度	・市の公共施設の車いすマーク駐車場等を協力駐車場として登録するための報告や窓口等における制度説明、案内。（亀岡市内 施設数40 区画数74）	・市の公共施設の車いすマーク駐車場等を協力駐車場として登録するための報告や窓口等における制度説明、案内。（亀岡市内 施設数42 区画数81）	0円
平成26年度	・市の公共施設の車いすマーク駐車場等を協力駐車場として登録するための報告や窓口等における制度説明、案内。（亀岡市内 施設数43 区画数77）	・市の公共施設の車いすマーク駐車場等を協力駐車場として登録するための報告や窓口等における制度説明、案内。（亀岡市内 施設数47 区画数88）	0円
平成27年度	・市の公共施設の車いすマーク駐車場等を協力駐車場として登録するための報告や窓口等における制度説明、案内。（亀岡市内 施設数46 区画数80）	・市の公共施設の車いすマーク駐車場等を協力駐車場として登録するための報告や窓口等における制度説明、案内。（亀岡市内 施設数51 区画数93）	0円

⑥目標に対する進捗状況

	20%	40%	60%	80%	100%	目標年度
進捗度						平成27年度

（その根拠）

平成27年度末までの目標施設数、区画数の総数合計（570）を100%として、実績の数値（616）の占める割合を出した。
--

■B 前期基本計画期間の総括欄■

①前期基本計画期間の当該事業の成果について

人の集まる施設において障害者等に対し、安心して安全な利用しやすい駐車区域の確保及び増加を図るという目的に対して、結果として設置施設数や区画数が増加したため、障害者等の移動支援に大きく寄与できたと考えます。

②前期基本計画期間の当該事業の課題について

当該事業は、概ねの施設が制度加入を済ませており、そのため、未設置施設が少なくなっているため、今後の増加は緩やかなものになると考えます。

③当該事業の平成28年度以降の方向性について

今後については、加入数ではなく利用者への利用啓発に重点を移すことが重要であると考えます。